資料7　意識調査結果の概要

調査概要

（1）　調査目的

二酸化炭素などの温室効果ガスの増加による地球温暖化は、私たちの生活のさまざまな場面で大きな影響を及ぼすとされており、気温上昇による農作物への影響や、過去の観測を上回るようなゲリラ豪雨、台風の大型化などによる自然災害、熱中症搬送者数の増加といった健康への影響などが既に現れていることから、その対策は急務となっています。

本市では、今年度、市民・事業者・行政が一体になり温室効果ガスの削減に取り組む「熊谷市地球温暖化対策実行計画」の見直しを進めており、市民及び事業者の皆様の地球温暖化対策への取組の現状や、今後の取組の可能性等を計画に反映させるために、アンケート調査を実施することとしました。

（2）　調査対象者及び回収状況

調査対象	市民	事業者
抽出方法	住民基本台帳 18 歳以上	法人市民税データより本店または営業所等の所在地が市内にある事業者
調査方法	無作為	無作為
調査数	1,300	200
回収数	417	61
回収率	32.1	30.5
(%)	31.3	

（3）　調査期間

令和５年７月７日（金）にアンケートを一斉発送し、７月２８日（金）までに投函したものを有効結果として実施しました。

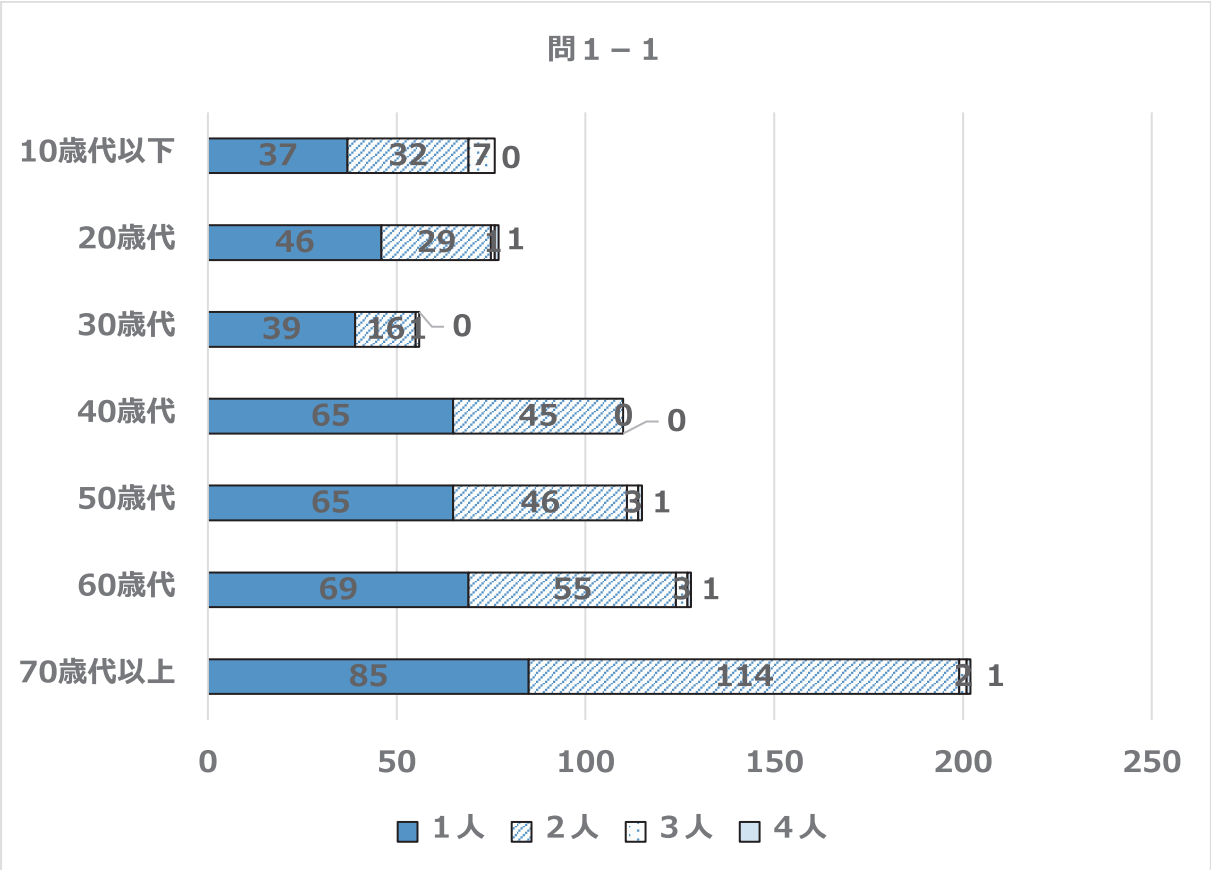
市民の意識

問１-１　あなたの家族構成について伺います。あなた自身を含めて同居している家族の年代と人数について、それぞれあてはまる番号に○印をつけてください。

人数 / 年代	１人	２人	３人	４人以上
① 10 歳代以下	1	2	3	4
② 20 歳代	1	2	3	4
③ 30 歳代	1	2	3	4
④ 40 歳代	1	2	3	4
⑤ 50 歳代	1	2	3	4
⑥ 60 歳代	1	2	3	4
⑦ 70 歳代以上	1	2	3	4

問１-１（結果）

本アンケートの結果者は、70 歳以上の家族構成であることが最も多くなっています。

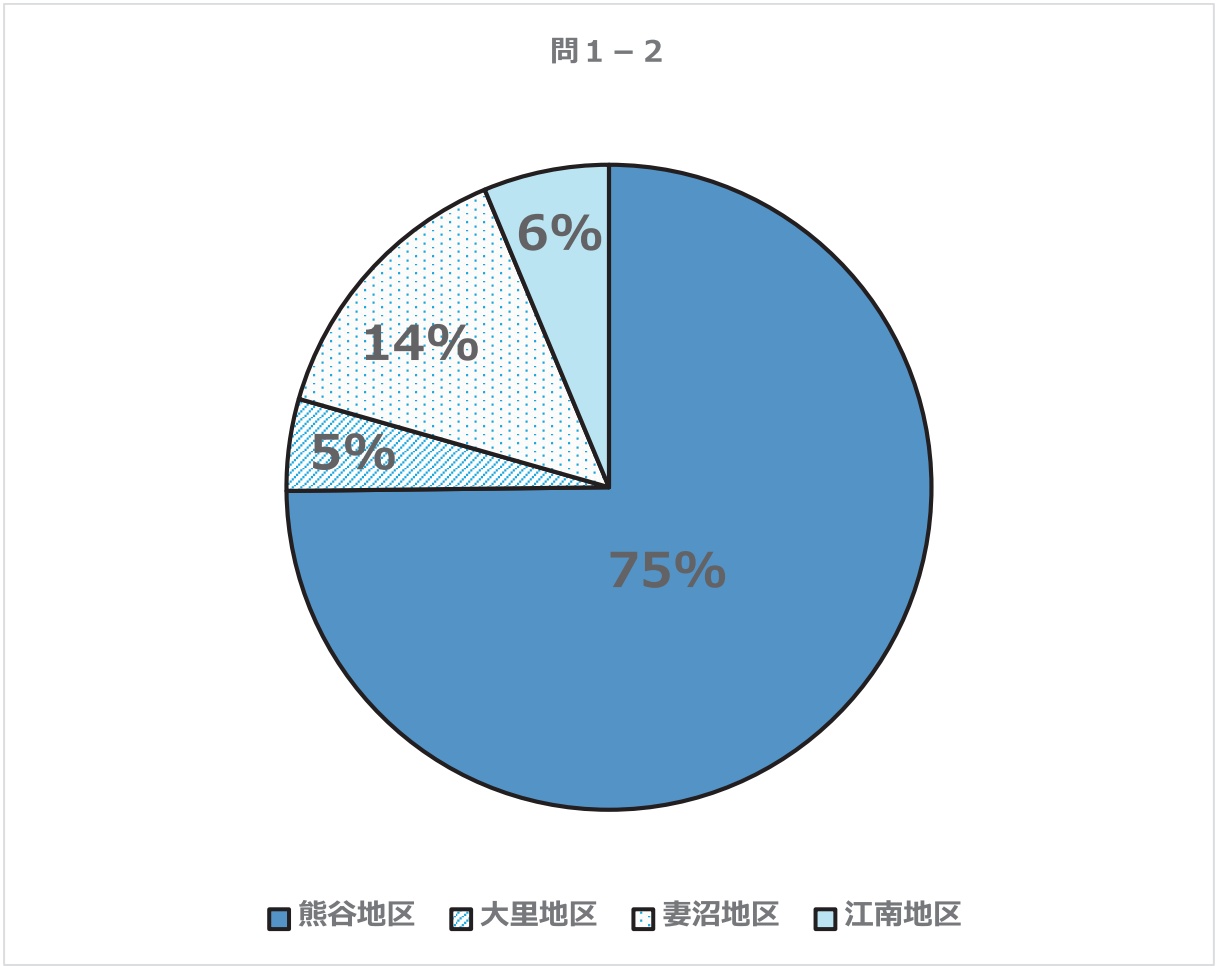


問1-２　あなたのお住まいの地区はどちらですか。あてはまる番号１つに○印をつけてください。

1．熊谷地区	2．大里地区	3．妻沼地区	4．江南地区

問1-２（結果）

アンケートの結果者の７割以上は熊谷地区（75%）であり、続いて妻沼地区（14%）が多く、江南地区（6%）、大里地区（5%）の順となっています。

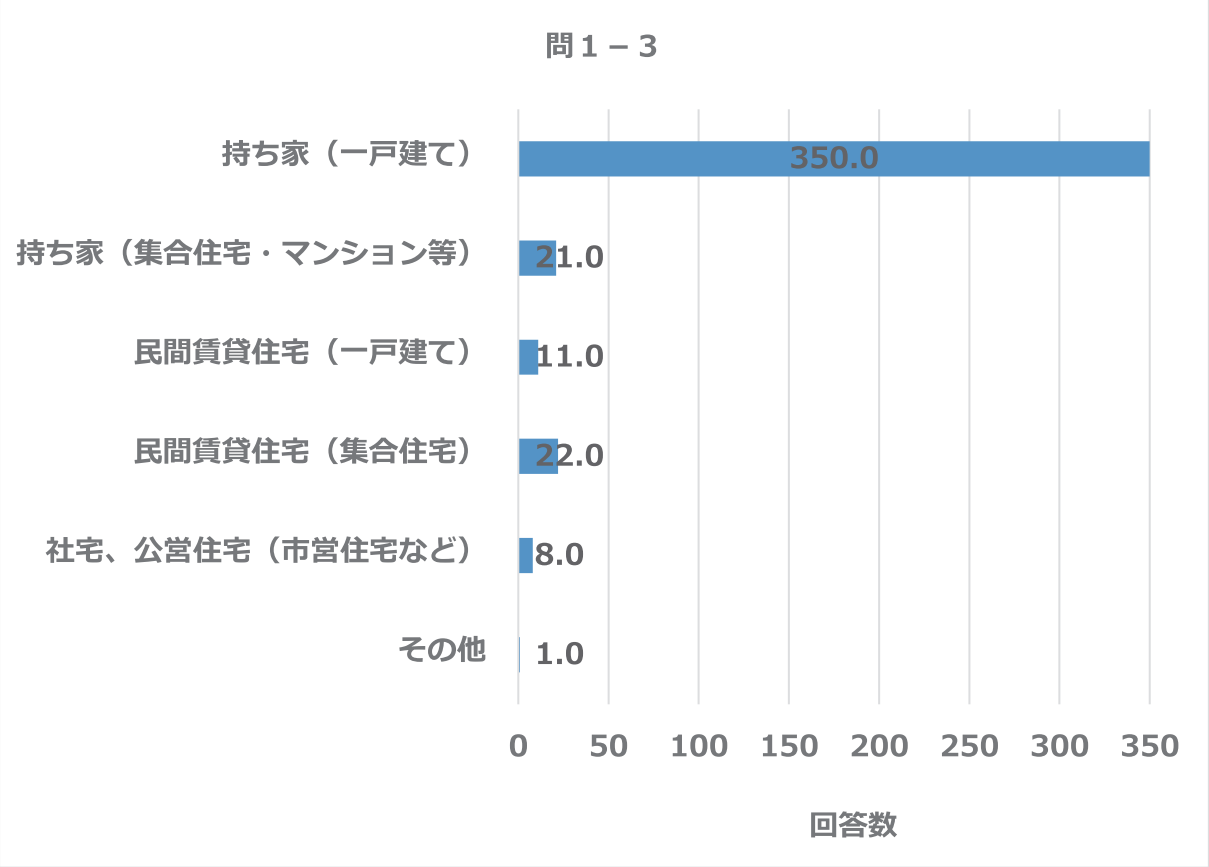


問1-3　あなたの住居の種類は次のうちどれですか。あてはまる番号１つに○印をつけてください。

1. 持ち家（一戸建て）	2. 持ち家（集合住宅・マンション等）
3. 民間賃貸住宅（一戸建て）	4. 民間賃貸住宅（集合住宅）
5. 社宅、公営住宅（市営住宅など）	6. その他（　　）

問1-3（結果）

結果者の多くは、持ち家（一戸建て）住宅となっています。

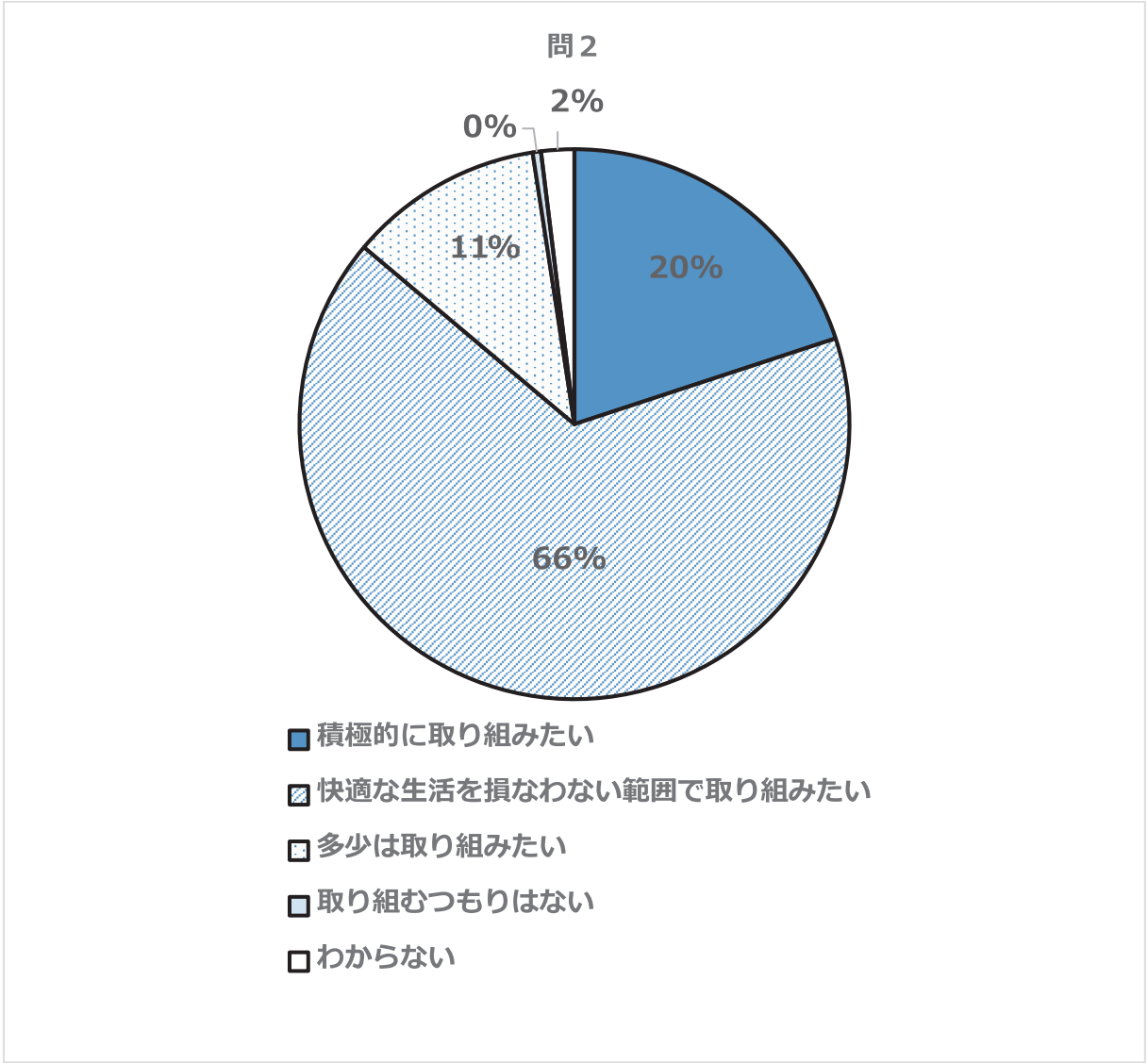


問2　地球温暖化対策の取組は、多くの方々が取組むことによってより大きな効果をもたらします。このことについて、あなたはどのように考えますか。あてはまる番号１つに○印をつけてください。

1．積極的に取組みたい	2．快適な生活を損ねない範囲で取組みたい	3．多少は取組みたい
4．取組むつもりはない	5．わからない	

問2（結果）

積極的に取り組みたいと結果した割合は全体の２割ほどであるが、多少は取り組みたいと思っている割合まで含めると、９割以上となっています。

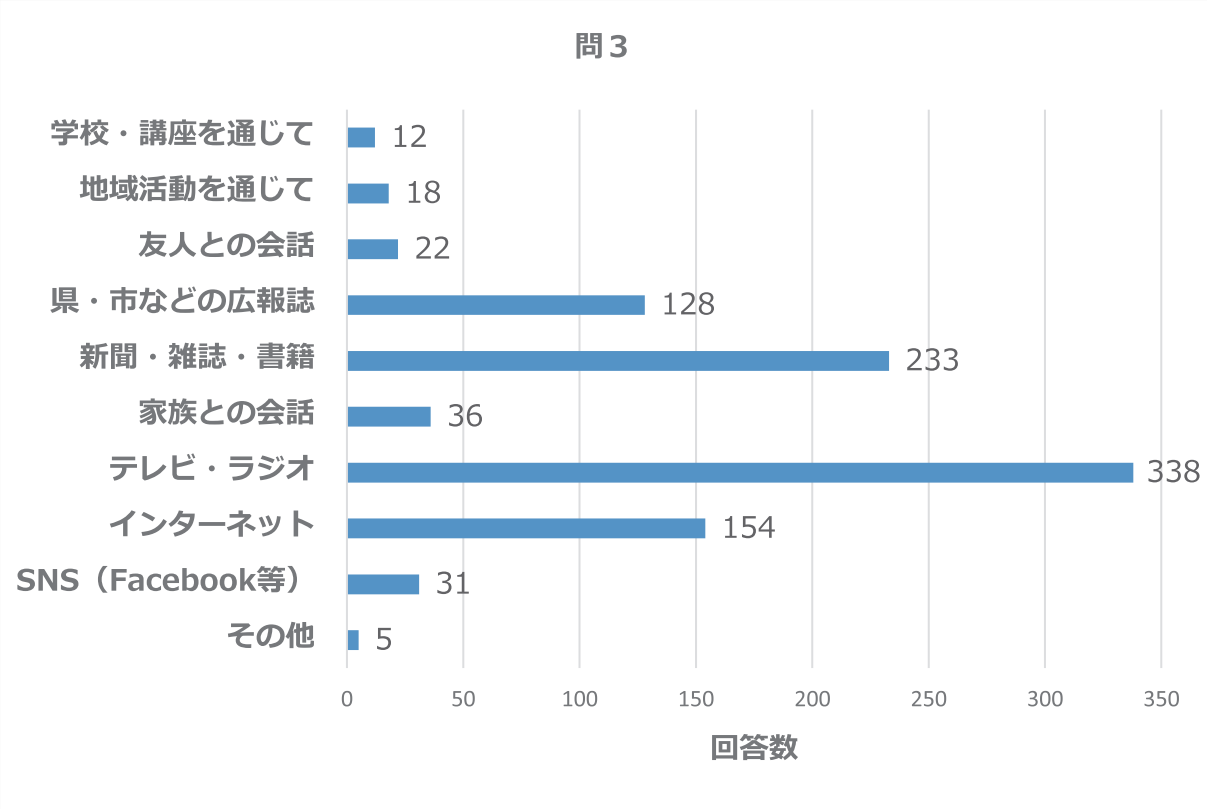


問3　あなたは地球温暖化問題に関する情報を主にどこから得ていますか。あてはまる番号を３つまで選んで○印をつけてください

１．学校・講座を通じて	２．地域活動を通じて	３．友人との会話
４．県・市などの広報紙	５．新聞・雑誌・書籍	６．家族との会話
７．テレビ・ラジオ	８．インターネット	９．SNS（Facebook 等）
10. その他（　　）		

問3（結果）

地球温暖化問題に関する情報は、テレビ・ラジオからの取得が最も多く、続いて新聞・雑誌・書籍、インターネット、広報誌という順で多いことがわかります。



問4　わが国でも、すでに地球温暖化による気候変動が観測されており、将来にわたって自然や人間生活に様々な影響を与えることが予測されています。あなたは、地球温暖化による影響について実感していますか。それぞれ、あてはまる番号１つに○印をつけてください。

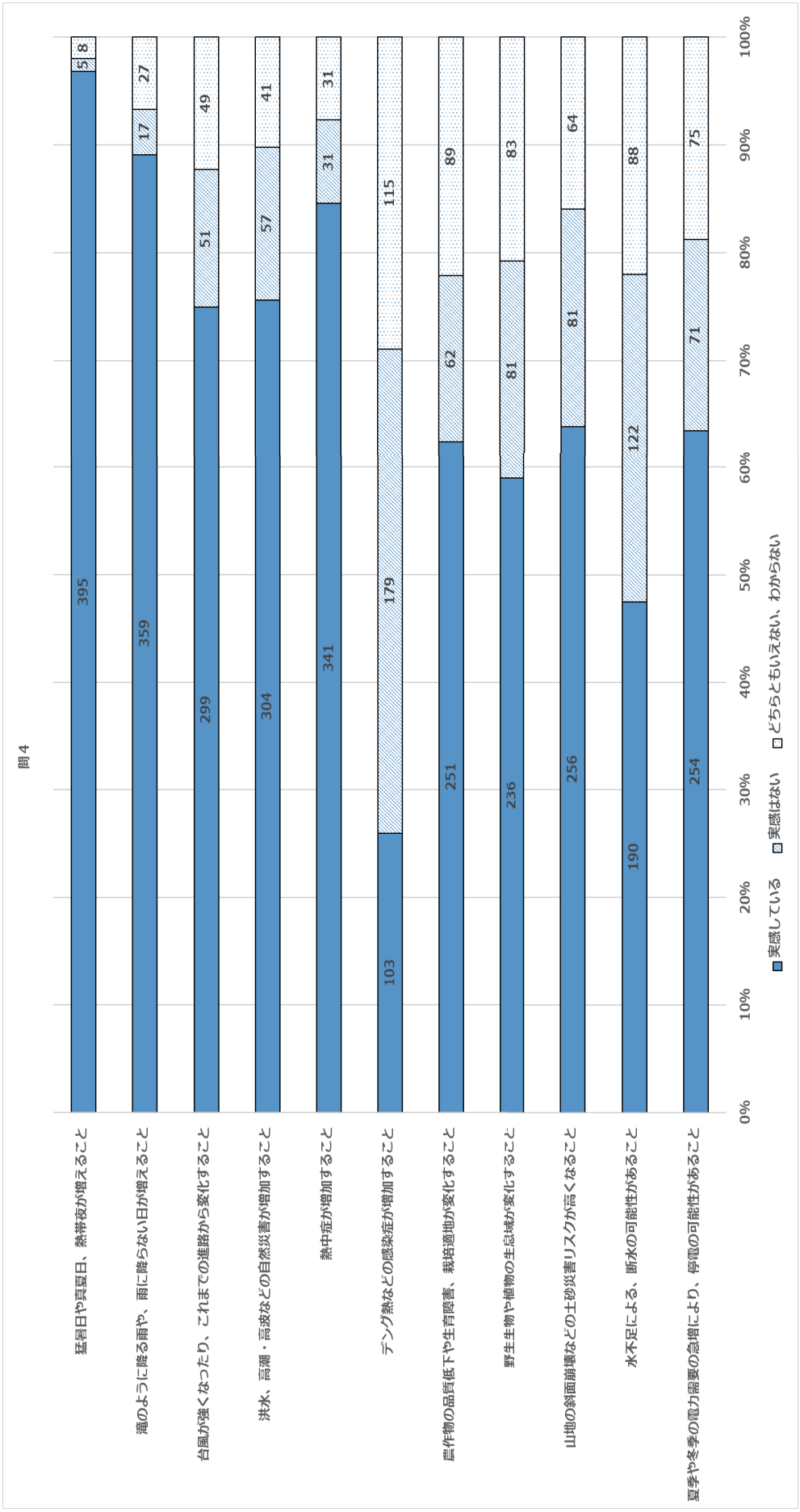
項目	実感している	実感はない	どちらとも言えない、わからない
猛暑日や真夏日、熱帯夜が増えること	1	2	3
滝のように降る雨や、雨の降らない日が増えること	1	2	3
台風が強くなったり、これまでの進路から変化すること	1	2	3
洪水、高潮・高波などの自然災害が増加すること	1	2	3
熱中症が増加すること	1	2	3
デング熱などの感染症が増加すること	1	2	3
農作物の品質低下や生育障害、栽培適地が変化すること	1	2	3
野生生物や植物の生息域が変化すること	1	2	3
山地の斜面崩壊など土砂災害のリスクが高くなること	1	2	3
水不足による、断水の可能性があること	1	2	3
夏季や冬季の電力需要の急増により、停電の可能性があること	1	2	3

問4（結果）

「猛暑日や真夏日、熱帯夜が増えること」に実感している結果が最も多く 395 人、続いて「滝のように降る雨や、雨に降らない日が増えること」が 359 人、「熱中症が増加すること」が 341 人となっています。

また、「水不足による、断水の可能性があること」では、水不足での断水の可能性は、「実感はない・どちらともいえない、わからないと」いった回答が多くなっています。

※結果グラフは次ページに示します。

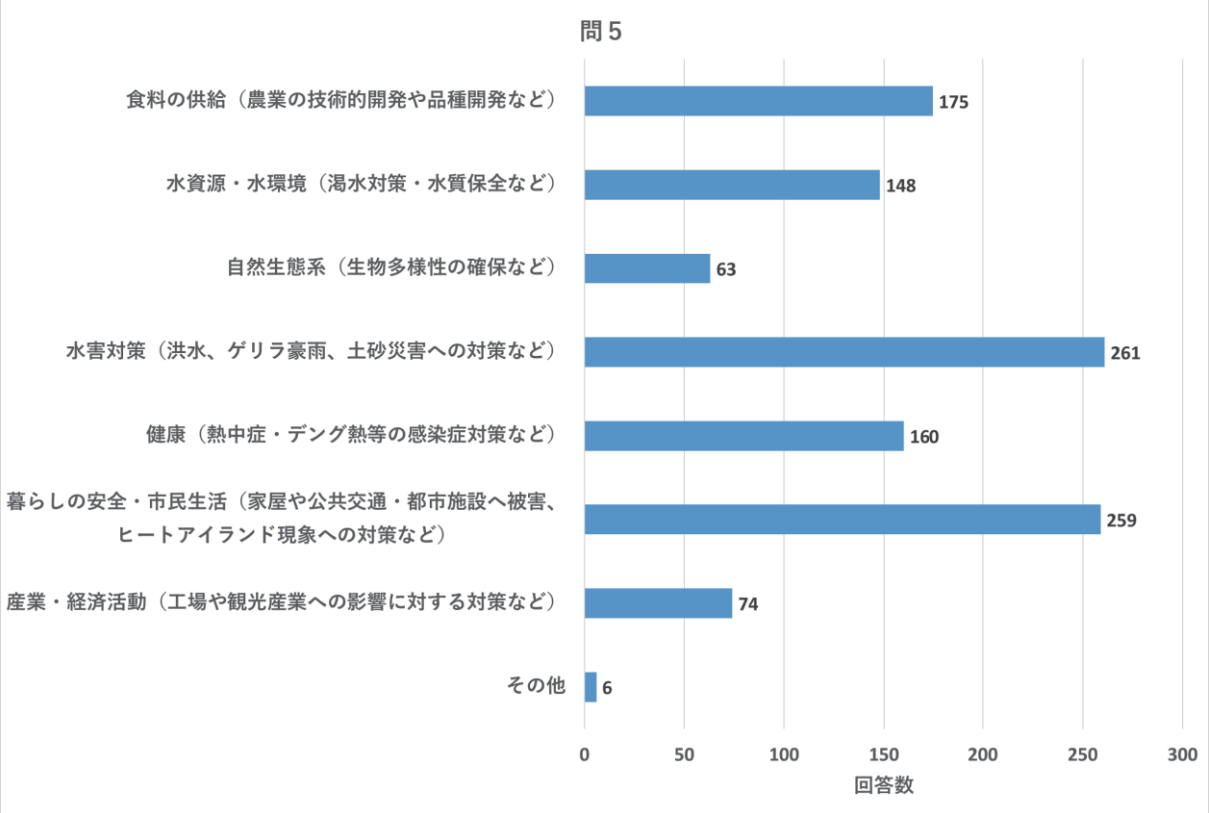

問４
猛暑日や真夏日、熱帯夜が増えること
395
5
8
滝のように降る雨や、雨に降らない日が増えること
359
17
27
台風が強くなったり、これまでの進路から変化すること
299
51
49
洪水、高潮・高波などの自然災害が増加すること
304
57
41
熱中症が増加すること
341
31
31
デング熱などの感染症が増加すること
103
179
115
農作物の品質低下や生育障害、栽培適地が変化すること
251
62
89
野生生物や植物の生息域が変化すること
236
81
83
山地の斜面崩壊などの土砂災害リスクが高くなること
256
81
64
水不足による、断水の可能性があること
190
122
88
夏季や冬季の電力需要の急増により、停電の可能性があること
254
71
75
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
実感している
実感はない
どちらともいえない、わからない

問5　地球温暖化に対する取組として、温室効果ガスの排出を抑制する「緩和策」と、現在及び将来予測される影響に対して、自然や人間社会の在り方を調整し、被害を最小限に食い止めるための「適応策」があります。「適応策」として、本市ではどのような分野を重点的に進めていくべきであるとあなたは考えますか。あてはまる番号を3つまで選んで○印をつけてください。

1．食料の供給（農業の技術開発や品種開発など）	2．水資源・水環境（渇水対策・水質保全など）
3．自然生態系（生物多様性の確保など）	4．水災害対策（洪水、ゲリラ豪雨、土砂災害への対策など）
5．健康（熱中症・デング熱等の感染症対策など）	6．暮らしの安全・市民生活（家屋や公共交通・都市施設への被害、ヒートアイランド現象への対策など）
7．産業・経済活動（工場や観光産業への影響に対する対策など）	8．その他

問5（結果）

地球温暖化に対する取り組みの対応策として、水害対策が最も多く、続いて暮らしの安全・市民生活について多いことがわかります。



問6　現在の熊谷市の地球温暖化対策実行計画における市の取組みについて、あなたの満足度と充実希望度をお聞きします。以下の各項目について、あなたの考えや意見に近い番号1～5の中から１つに○印をつけてください。

項　　目	満足度					充実希望度				
	満足している	まあまあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実させてほしい	やや充実させてほしい	どちらともいえない	あまり希望しない	希望しない
【例】○○○○	1	②	3	4	5	1	2	3	④	5
1. 再生可能エネルギーの導入・活用促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 新たなエネルギー（ごみ焼却熱、地中熱、工場排熱、燃料電池等）の有効利用促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 市有施設への省エネルギー技術の導入	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 家庭や事業所への省エネルギー技術の導入支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 脱炭素交通システムへの転換（公共施設・商業施設等への電気自動車充電設備、水素ステーションの設置促進など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 次世代自動車（電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）、燃料電池自動車（FCV）等）の普及促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. エネルギーマネジメントの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 緑化や自然再生の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 5R（リサイクル・リデュース・リユース・リペア・リターン）運動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. バイオマス資源の活用推進（食品残渣や農畜産廃棄物の資源化など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. ライフスタイルの脱炭素化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. ビジネススタイルの脱炭素化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13. 市による地球温暖化対策の率先行動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14. 市と市民・事業者との協働による地球温暖化対策の取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15. ヒートアイランド対策・感染症対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16. 災害への備えと影響低減への取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17. 農業への気候変動の影響に対する、取	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項　　目	満足度					充実希望度				
	満足している	まあまあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実させてほしい	やや充実させてほしい	どちらともいえない	あまり希望しない	希望しない
組についての情報収集・情報提供										

問6（結果）

（満足度）

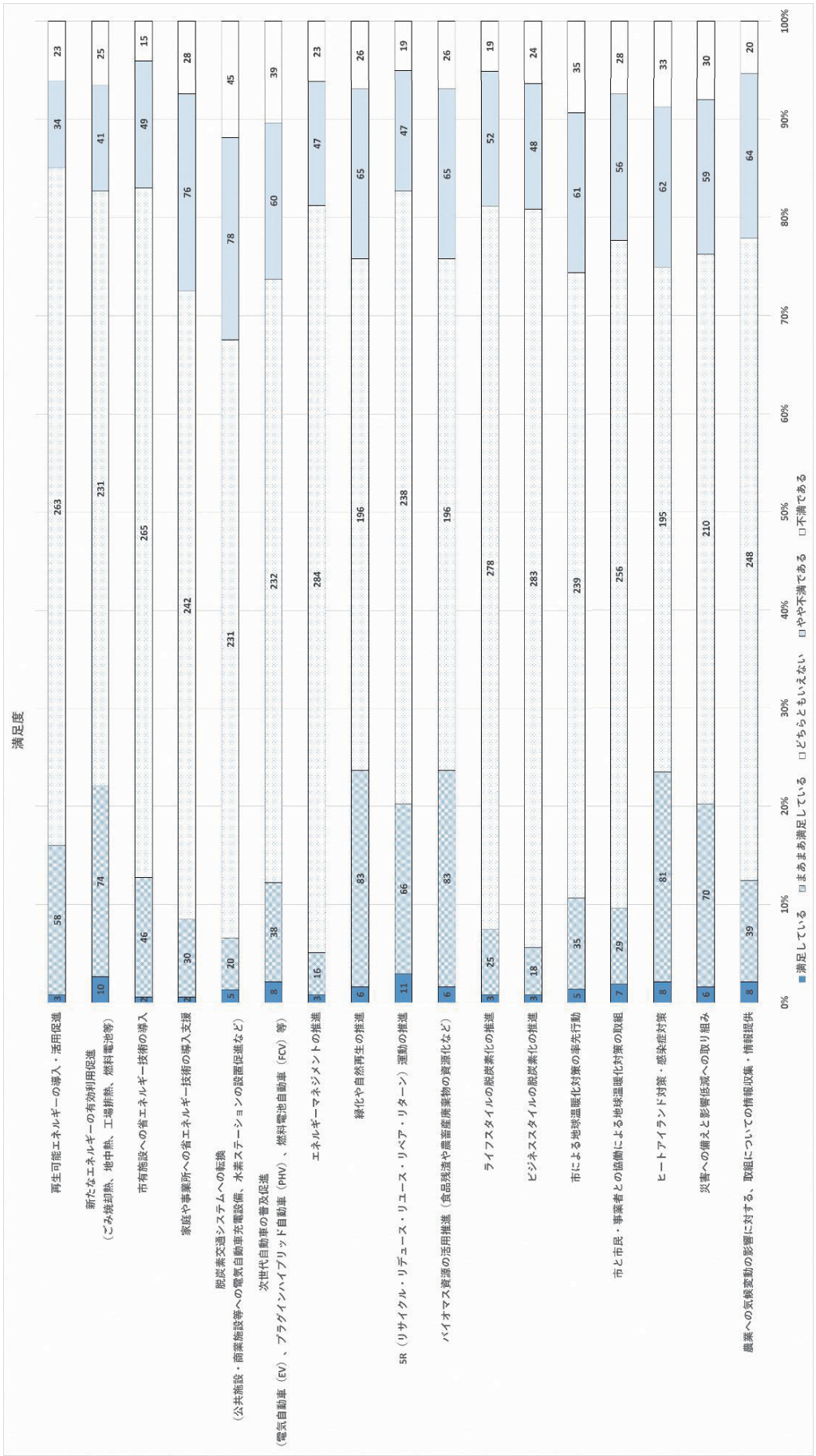
市の取組に満足している回答は非常に少なく、回答の多くは「どちらともいえない」が占める結果となりました。

（充実希望度）

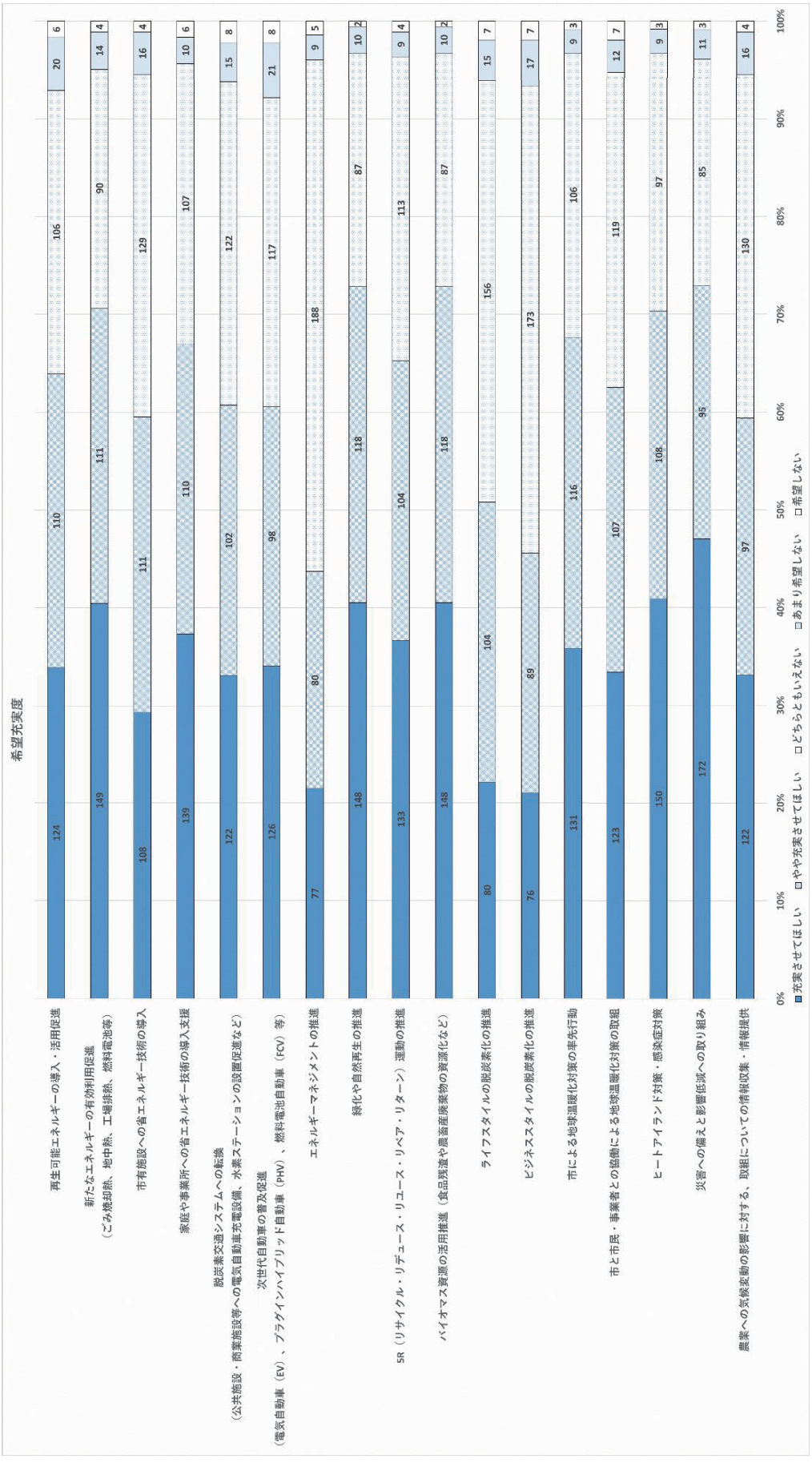
充実させてほしい寄りの意見が多くを占めています。エネルギーマネジメントの推進やビジネススタイルの脱炭素化の推進といった、あまり聞きなれない（馴染みのない）単語について「どちらともいえない」の回答が多いことがわかります。

※結果グラフは次ページに示します。

満足度


満足度
再生可能エネルギーの導入・活用促進
新たなエネルギーの有効利用促進
（ごみ焼却熱、地中熱、工場排熱、燃料電池等）
市有施設への省エネルギー技術の導入
家庭や事業所への省エネルギー技術の導入支援
脱炭素交通システムへの転換
（公共施設・商業施設等への電気自動車充電設備、水素ステーションの設置促進など）
次世代自動車の普及促進
（電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）、燃料電池自動車（FCV）等）
エネルギーマネジメントの推進
緑化や自然再生の推進
3R（リサイクル・リデュース・リユース・リペア・リターン）運動の推進
バイオマス資源の活用推進（食品残渣や農畜産廃棄物の資源化など）
ライフスタイルの脱炭素化の推進
ビジネススタイルの脱炭素化の推進
市による地球温暖化対策の率先行動
市と市民・事業者との協働による地球温暖化対策の取組
ヒートアイランド対策・感染症対策
災害への備えと影響低減への取り組み
農業への気候変動の影響に対する、取組についての情報収集・情報提供
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
■満足している
■まあまあ満足している
□どちらともいえない
□やや不満である
□不満である

充実希望度

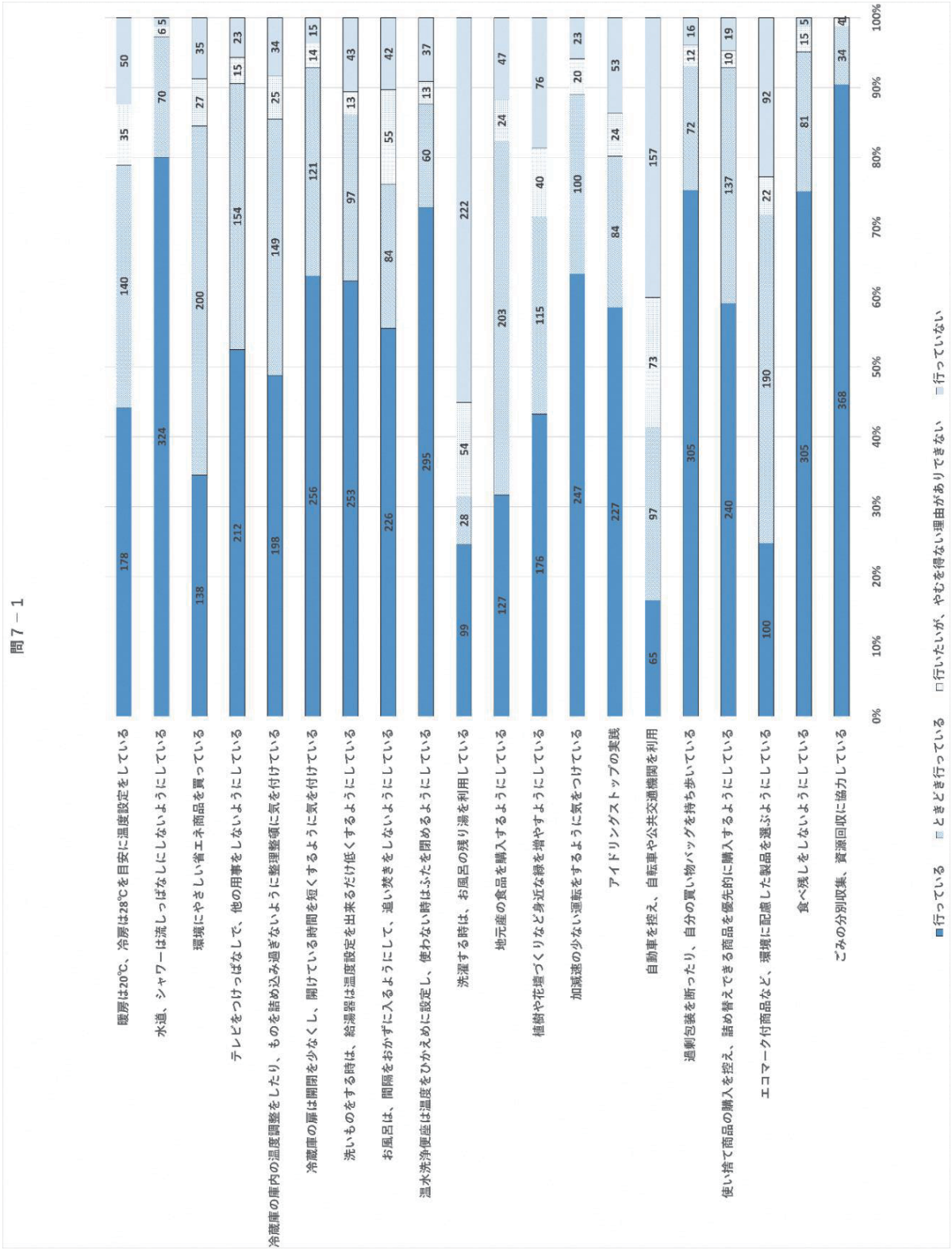

希望充実度
再生可能エネルギーの導入・活用促進
新たなエネルギーの有効利用促進
（ごみ焼却熱、地中熱、工場排熱、燃料電池等）
市有施設への省エネルギー技術の導入
家庭や事業所への省エネルギー技術の導入支援
脱炭素交通システムへの転換
（公共施設・商業施設等への電気自動車充電設備、水素ステーションの設置促進など）
次世代自動車の普及促進
（電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）、燃料電池自動車（FCV）等）
エネルギーマネジメントの推進
緑化や自然再生の推進
5R（リサイクル・リデュース・リユース・リペア・リターン）運動の推進
バイオマス資源の活用推進（食品残渣や農畜産廃棄物の資源化など）
ライフスタイルの脱炭素化の推進
ビジネススタイルの脱炭素化の推進
市による地球温暖化対策の率先行動
市と市民・事業者との協働による地球温暖化対策の取組
ヒートアイランド対策・感染症対策
災害への備えと影響低減への取り組み
農業への気候変動の影響に対する、取組についての情報収集・情報提供
124 110 106 20 6
108 111 129 16 4
139 110 107 10 6
122 102 122 15 8
126 98 117 21 8
77 80 188 9 5
148 118 87 10 2
133 104 113 9 4
148 118 87 10 2
80 104 156 15 7
76 89 173 17 7
131 116 106 9 3
123 107 119 12 7
150 108 97 9 3
172 95 85 11 3
122 97 130 16 4
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
■充実させてほしい ■やや充実させてほしい □どちらともいえない □あまり希望しない □希望しない

問7-1　あなたの家では以下の項目の取組をどの程度行っていますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1～4の中から１つに○印をつけてください。

	項目 ＼ 取り組み状況	行っている	ときどき行っている	行いたいが、やむを得ない理由がありできない	行っていない
日常生活	1. 暖房は 20℃、冷房は 28℃を目安に温度設定をしている	1	2	3	4
	2. 水道、シャワーは流しっぱなしにしないようにしている	1	2	3	4
	3. 環境にやさしい省エネ商品を買っている	1	2	3	4
	4. テレビをつけっぱなしで、他の用事をしないようにしている	1	2	3	4
	5. 冷蔵庫の庫内の温度調整をしたり、ものを詰め込み過ぎないように整理整頓に気を付けている	1	2	3	4
	6. 冷蔵庫の扉は開閉を少なくし、開けている時間を短くするように気を付けている	1	2	3	4
	7. 洗いものをする時は、給湯器は温度設定を出来るだけ低くするようにしている	1	2	3	4
	8. お風呂は、間隔をおかずに入るようにして、追い焚きをしないようにしている	1	2	3	4
	9. 温水洗浄便座は温度をひかえめに設定し、使わない時はふたを閉めるようにしている	1	2	3	4
	10. 洗濯する時は、お風呂の残り湯を利用している	1	2	3	4
	11. 地元産の食品を購入するようにしている	1	2	3	4
	12. 植樹や花壇づくりなど身近な緑を増やすようにしている	1	2	3	4
自動車	13. 加減速の少ない運転をするように気をつけている	1	2	3	4
	14. アイドリングストップの実践	1	2	3	4
	15. 自動車を控え、自転車や公共交通機関を利用	1	2	3	4
ごみ減量・リサイクルについての取組み	16. 過剰包装を断ったり、自分の買い物バッグを持ち歩いている	1	2	3	4
	17. 使い捨て商品の購入を控え、詰め替えできる商品を優先的に購入するようにしている	1	2	3	4
	18. エコマーク付商品など、環境に配慮した製品を選ぶようにしている	1	2	3	4
	19. 食べ残しをしないようにしている	1	2	3	4
	20. ごみの分別収集、資源回収に協力している	1	2	3	4

問7-1（結果）

結果より、「水道、シャワーは流しっぱなしにしないようにしている」や「ごみの分別収集、資源回収に協力している」は行っている割合が多く、「１０洗濯するときは、お風呂の残り湯を利用している」や「自動車を控え、自転車や公共交通機関を利用」は行っていない割合が多いことがわかります。

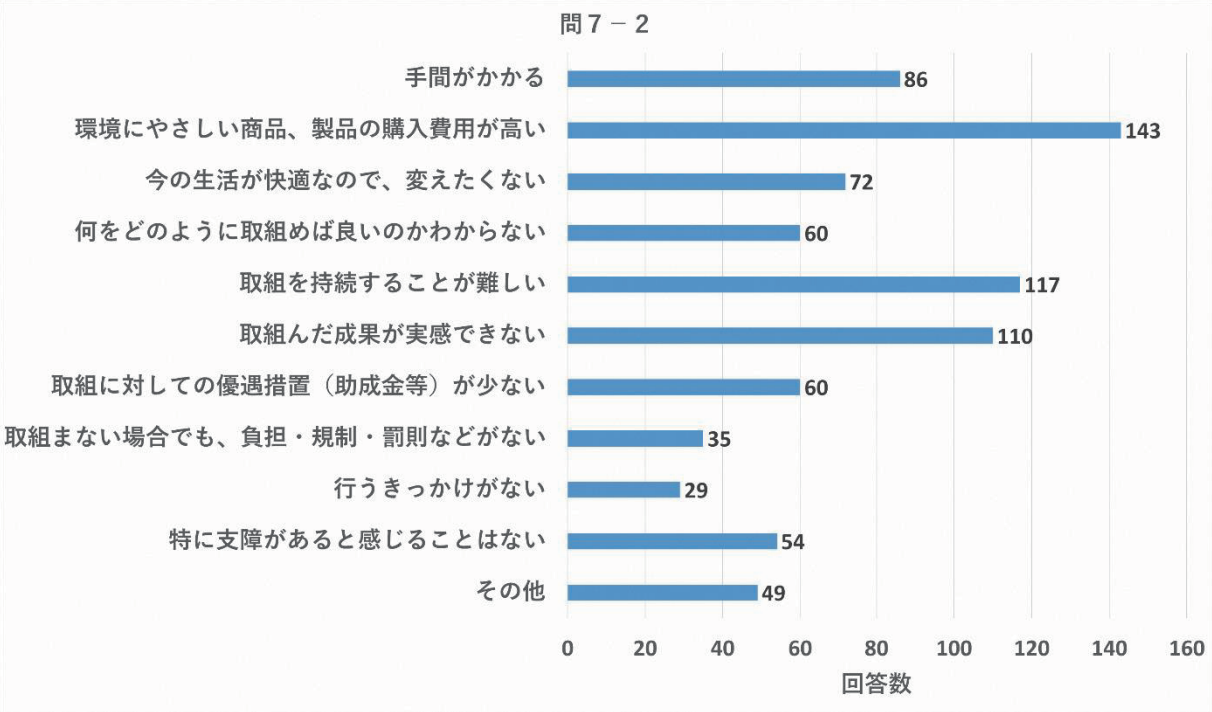


問7-2　問7-1にあるような取組を行えない理由として感じるものは何ですか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 手間がかかる	2. 環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い
3. 今の生活が快適なので、変えたくない	4. 何をどのように取組めば良いのかわからない
5. 取組を持続することが難しい	6. 取組んだ成果が実感できない
7. 取組に対しての優遇措置（助成金等）が少ない	8. 取組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない
9. 行うきっかけがない	10. 特に支障があると感じることはない
11. その他（具体的に：	）

問7-2（結果）

環境にやさしい商品、製品の購入費用が高いことが最も多く、続いて「取組を持続することが難しい」、「取組んだ成果が実感できない」の回答が多いことがわかります。



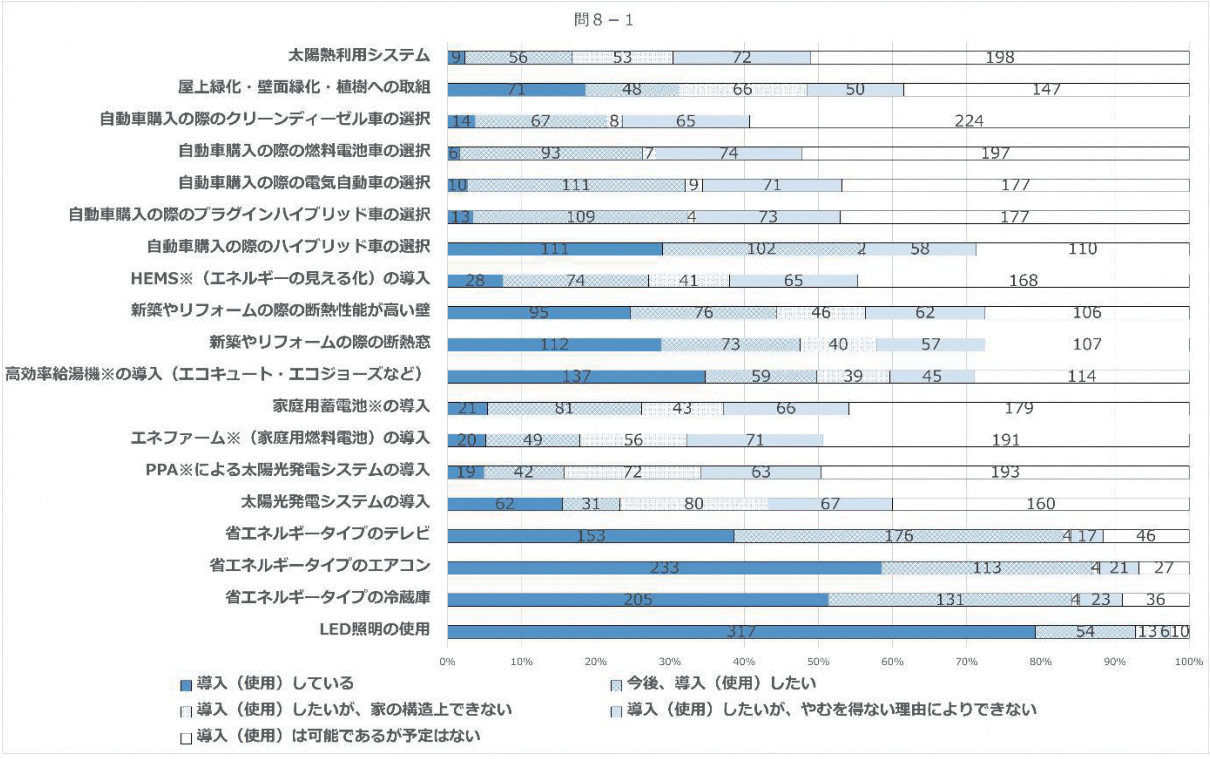
問8-1　下記の項目は、地球温暖化対策をさらに進めていく上で効果があると言われています。導入状況および今後の導入希望の有無等について教えてください。それぞれの項目について、あてはまる番号1～5の中から１つに○印をつけてください。

項目＼取り組み状況			導入（使用）している	今後、導入（使用）したい	導入（使用）したいが、家の構造上できない	導入（使用）したいが、やむを得ない理由によりできない	導入（使用）は可能であるが予定はない
1.	LED 照明の使用		1	2	3	4	5
2.	省エネルギータイプの冷蔵庫		1	2	3	4	5
3.	省エネルギータイプのエアコン		1	2	3	4	5
4.	省エネルギータイプのテレビ		1	2	3	4	5
5.	太陽光発電システムの導入		1	2	3	4	5
6.	PPA※による太陽光発電システムの導入	※Power Purchase Agreement（電力販売契約）：初期投資０円で発電設備を設置し、その電気を利用することで電気料金と CO_2 排出を削減することができる（設置事業者に 10～15 年電気料金を支払い、期間満了後に自己所有となる）。	1	2	3	4	5
7.	エネファーム※（家庭用燃料電池）の導入	※都市ガス・LP ガス・灯油などを使って発電する家庭用の機器。発電時に出る熱は給湯に利用される。	1	2	3	4	5
8.	家庭用蓄電池※の導入	※電気代が安い夜間電力や、太陽光発電で昼間に余った電気をためておく電池。	1	2	3	4	5
9.	高効率給湯機※の導入（エコキュート・エコジョーズなど）	※エネルギーの消費効率が従来の瞬間型ガス給湯器よりも優れた給湯器のこと。	1	2	3	4	5
10.	新築やリフォームの際の断熱窓		1	2	3	4	5
11.	新築やリフォームの際の断熱性能が高い壁		1	2	3	4	5
12.	HEMS※（エネルギーの見える化）の導入	※電気やガスなどのエネルギー使用状況を適切に把握・管理し、削減につなげるシステムのこと。	1	2	3	4	5
13.	自動車購入の際のハイブリッド車の選択		1	2	3	4	5
14.	自動車購入の際のプラグインハイブリッド車の選択		1	2	3	4	5
15.	自動車購入の際の電気自動車の選択		1	2	3	4	5
16.	自動車購入の際の燃料電池車の選択		1	2	3	4	5

項目 ＼ 取り組み状況			導入（使用）している	今後、導入（使用）したい	導入（使用）したいが、家の構造上できない	導入（使用）したいが、やむを得ない理由によりできない	導入（使用）は可能であるが予定はない
17.	自動車購入の際のクリーンディーゼル車の選択		1	2	3	4	5
18.	屋上緑化・壁面緑化・植樹への取組		1	2	3	4	5
19.	太陽熱利用システム※	※太陽熱を利用して温水や温風をつくり、給湯や暖房に利用するシステム。	1	2	3	4	5

問8-1（結果）

太陽光発電や蓄電池といった高価なものは、導入している件数は少ないが、家電製品等は省エネ製品を導入している回答が多いことがわかります。

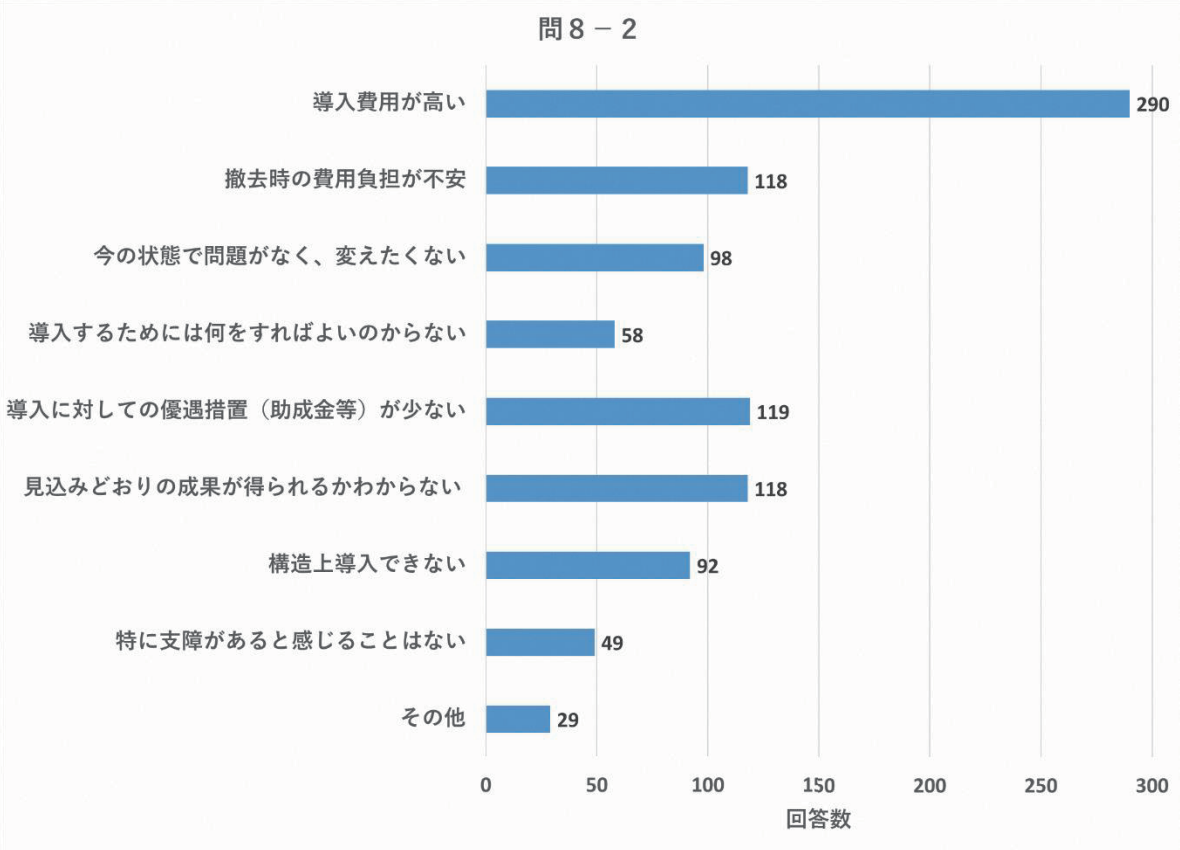


問8-2　問8-1にあるような省エネ・再エネ機器のうち、導入できないものについてその理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

1．導入費用が高い	2．撤去時の費用負担が不安
3．今の状態で問題がなく、変えたくない	4．導入するためには何をすればよいのからない
5．導入に対しての優遇措置（助成金等）が少ない	6．見込みどおりの成果が得られるかわからない
7．構造上導入できない	8．特に支障があると感じることはない
9．その他（具体的に：　　）	

問8-2（結果）

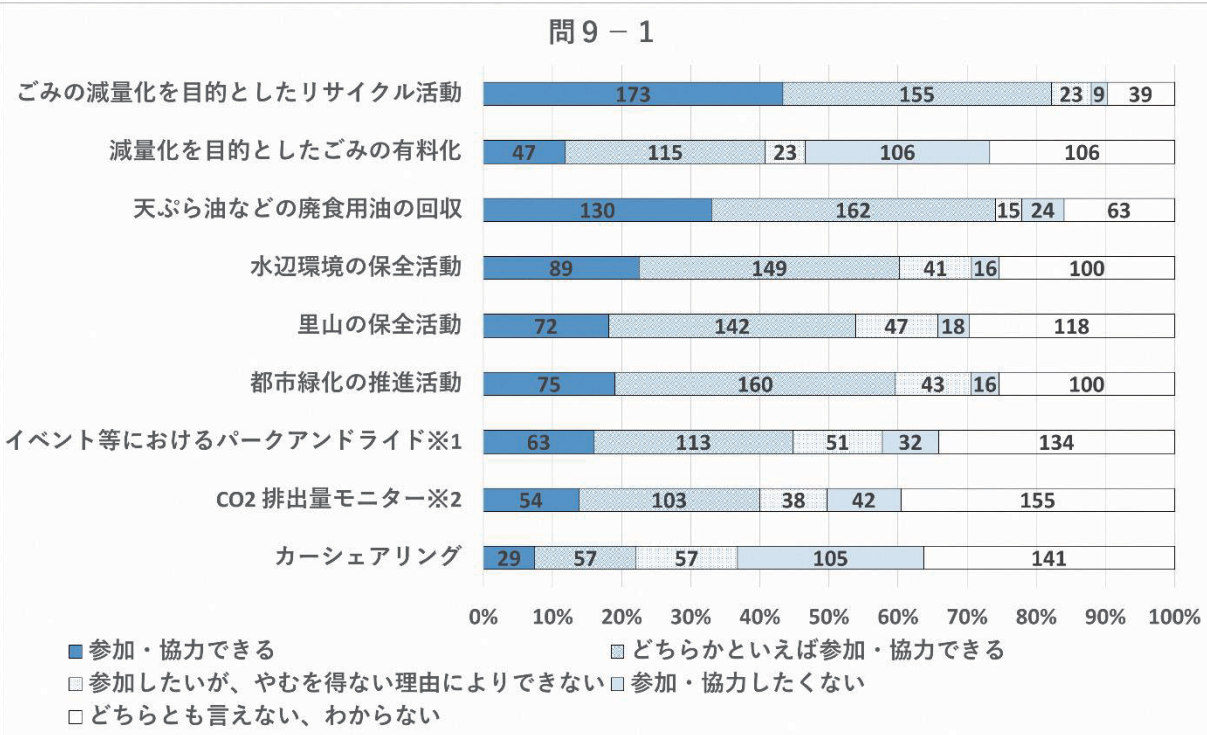
費用面で導入できない意見が多数を占めていることがわかります。



問9-1　地域で行う地球温暖化対策に参加・協力することができますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1～5の中から１つに○印をつけてください。

項目 ＼ 取り組み状況		参加・協力できる	どちらかといえば参加・協力できる	参加したいが、やむを得ない理由によりできない	参加・協力したくない	どちらとも言えない、わからない
1.	ごみの減量化を目的としたリサイクル活動	1	2	3	4	5
2.	減量化を目的としたごみの有料化	1	2	3	4	5
3.	天ぷら油などの廃食用油の回収	1	2	3	4	5
4.	水辺環境の保全活動	1	2	3	4	5
5.	里山の保全活動	1	2	3	4	5
6.	都市緑化の推進活動	1	2	3	4	5
7.	イベント等におけるパークアンドライド	1	2	3	4	5
8.	CO_2 排出量モニター	1	2	3	4	5
9.	カーシェアリング	1	2	3	4	5

問9-1（結果）



問9-2　問9-1にあるような活動について、参加できない理由として感じるものは何ですか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

1．参加する時間がない　　2．費用がかかる

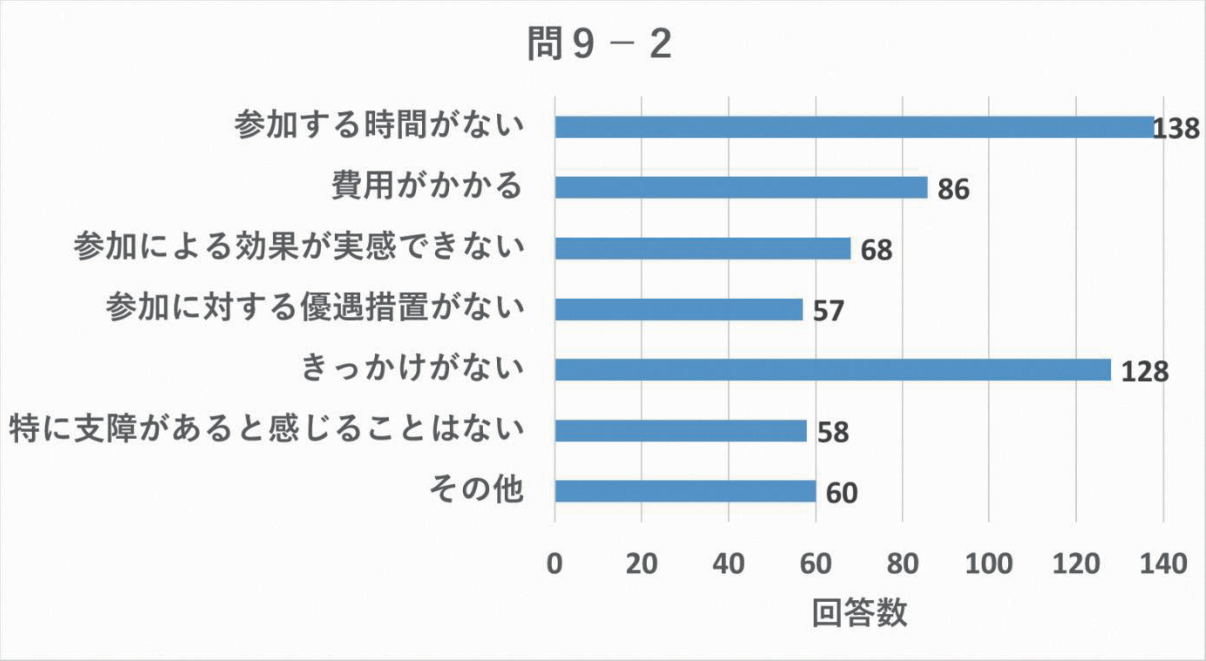
3．参加による効果が実感できない　　4．参加に対する優遇措置がない

5．きっかけがない　　6．特に支障があると感じることはない

7．その他（具体的に：　　）

問9-2（結果）

参加する時間がない、きっかけがないという回答が多数であることがわかります。



問10　地球温暖化を防止するため、行政にどのような対策を望みますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1～5の中から１つに○印をつけてください。

項　　目		望む	どちらかといえば望む	どちらかといえば望まない	望まない	どちらともいえない、わからない
1.	省エネ住宅普及のための啓発や支援	1	2	3	4	5
2.	省エネルギー機器普及のための啓発や支援	1	2	3	4	5
3.	省エネルギー相談実施日の増加	1	2	3	4	5
4.	各種補助制度の拡大	1	2	3	4	5
5.	「一日エコライフ DAY」への取組の普及・拡大	1	2	3	4	5
6.	エコドライブ（環境に配慮した運転）の啓発	1	2	3	4	5
7.	農畜産系バイオマスの導入に係る研究	1	2	3	4	5
8.	市全域を対象としたノーカーデーの実施	1	2	3	4	5
9.	公共交通の充実や自転車ネットワークの整備	1	2	3	4	5
10.	市道や駐車場等における遮熱舗装や透水性舗装への取組	1	2	3	4	5
11.	「くまがやエコライフフェア」等を通じ、市民・事業者に対して省エネルギー意識の更なる向上を図る	1	2	3	4	5
12.	環境保全に取組んだ行動や結果を表彰する制度	1	2	3	4	5
13.	地球温暖化対策に関する、市報やインターネットでの情報提供（例えば CO_2 の削減量の数値化など）	1	2	3	4	5
14.	地球環境問題や対策について学べる講座や体験学習会	1	2	3	4	5
15.	家庭や地域での緑化推進への支援	1	2	3	4	5
16.	太陽光発電など再生可能エネルギー設備の導入	1	2	3	4	5
17.	公共施設へ災害時の非常用電源となる蓄電池の導入	1	2	3	4	5

問10（結果）

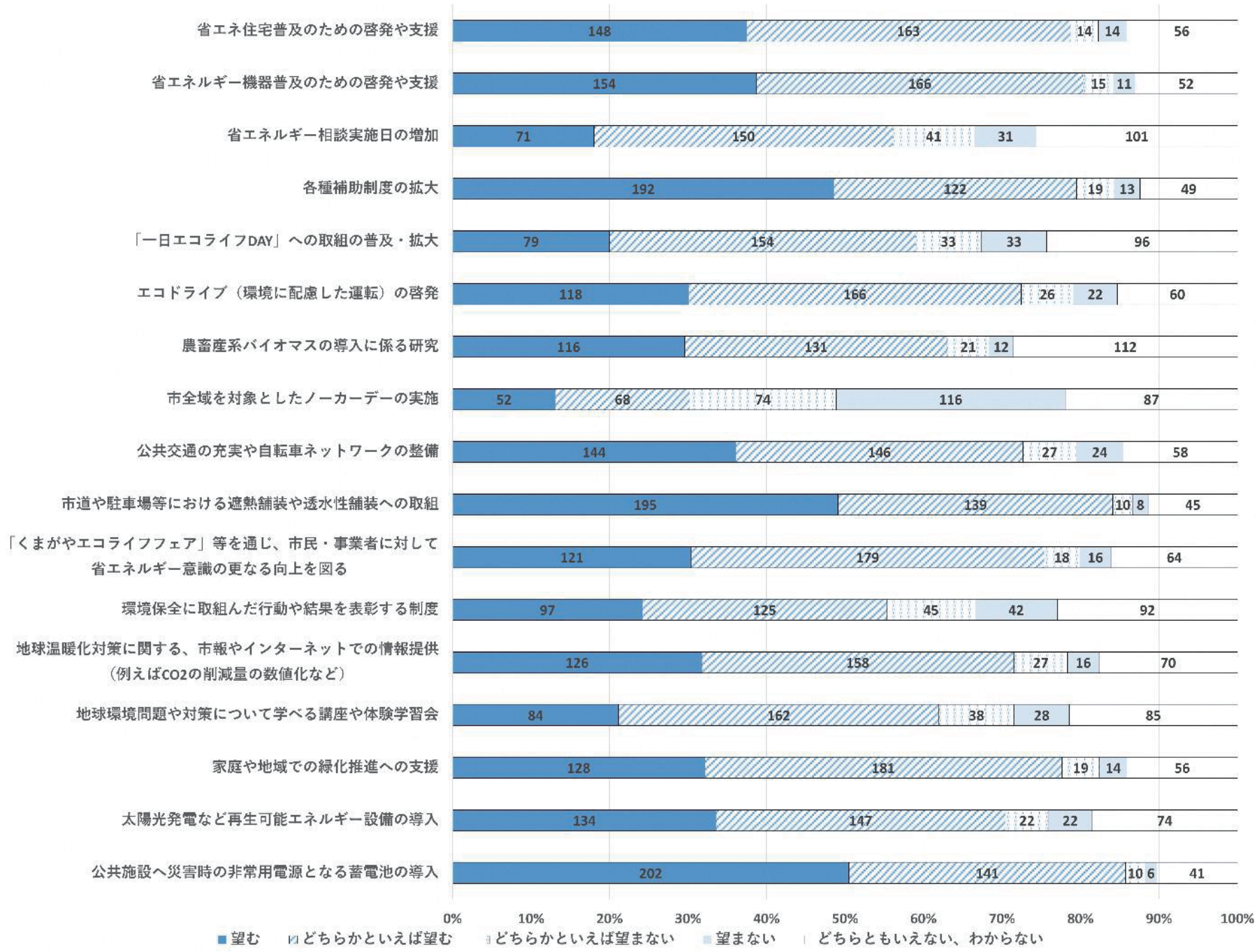
「望む」、「どちらかといえば望む」がほとんどの項目で多数を占めていることがわかります。

「８市全域を対象としたノーカーデーの実施」については、望まない意見の回答の方が多くなっています。

また、「望む」と「どちらかといえば望む」を合わせた回答が最も多かったのは、「17 公共施設への災害時の非常用電源となる蓄電池の導入」となっています。

※結果グラフは次ページに示します。

問１０


省エネ住宅普及のための啓発や支援 148 163 14 14 56
省エネルギー機器普及のための啓発や支援 154 166 15 11 52
省エネルギー相談実施日の増加 71 150 41 31 101
各種補助制度の拡大 192 122 19 13 49
「一日エコライフDAY」への取組の普及・拡大 79 154 33 33 96
エコドライブ（環境に配慮した運転）の啓発 118 166 26 22 60
農畜産系バイオマスの導入に係る研究 116 131 21 12 112
市全域を対象としたノーカーデーの実施 52 68 74 116 87
公共交通の充実や自転車ネットワークの整備 144 146 27 24 58
市道や駐車場等における遮熱舗装や透水性舗装への取組 195 139 10 8 45
「くまがやエコライフフェア」等を通じ、市民・事業者に対して省エネルギー意識の更なる向上を図る 121 179 18 16 64
環境保全に取組んだ行動や結果を表彰する制度 97 125 45 42 92
地球温暖化対策に関する、市報やインターネットでの情報提供（例えばCO2の削減量の数値化など） 126 158 27 16 70
地球環境問題や対策について学べる講座や体験学習会 84 162 38 28 85
家庭や地域での緑化推進への支援 128 181 19 14 56
太陽光発電など再生可能エネルギー設備の導入 134 147 22 22 74
公共施設へ災害時の非常用電源となる蓄電池の導入 202 141 10 6 41
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
望む
どちらかといえば望む
どちらかといえば望まない
望まない
どちらともいえない、わからない

事業者の意識

問1　貴事業所※について、それぞれあてはまる番号１つに○をつけてください。

※調査票を受け取った事業所（事務所・工場・店舗等）について、ご結果ください。

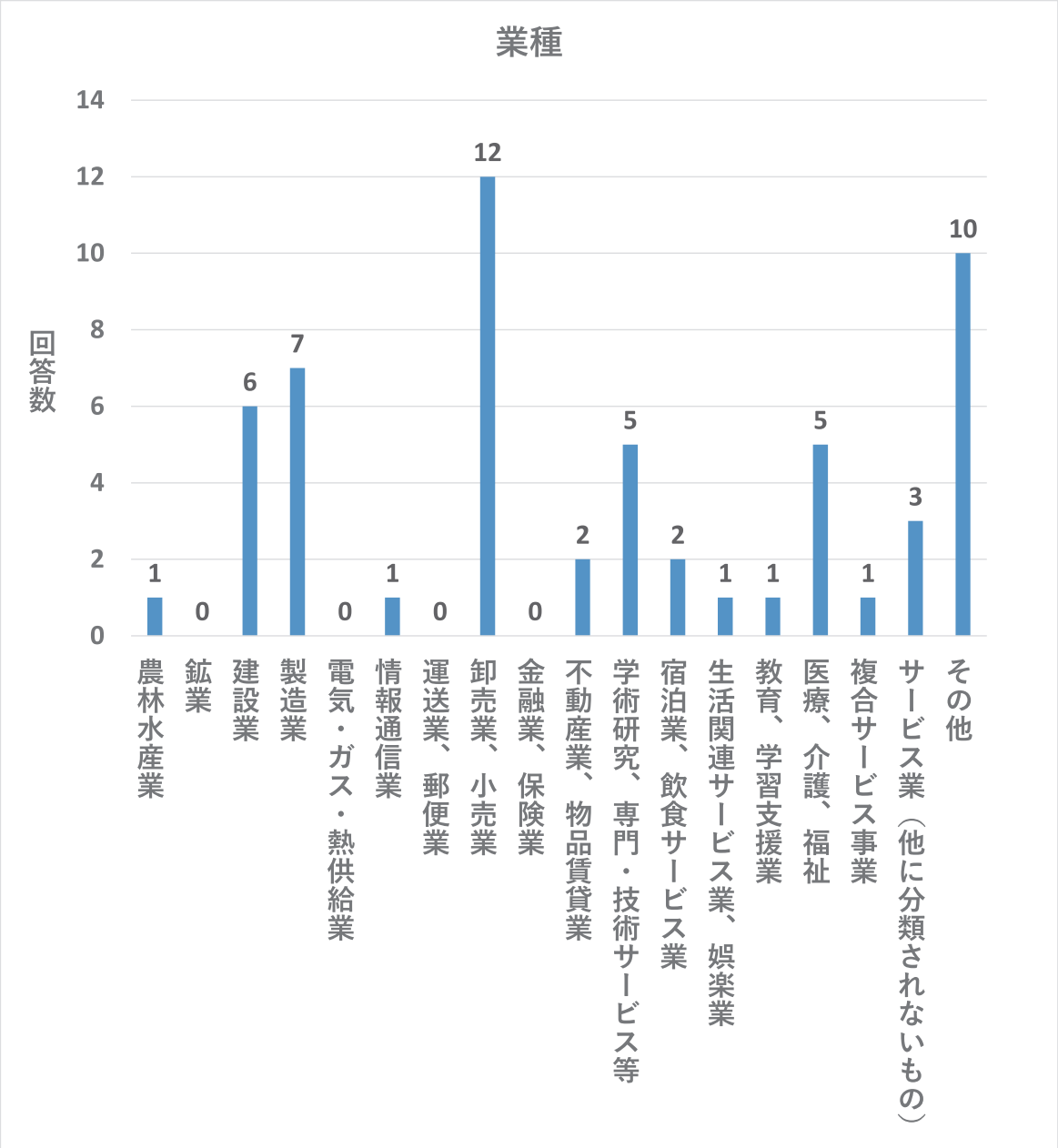
（以降の設問も同様です）

主な業種	１．農林水産業　２．鉱業　３．建設業 ４．製造業　５．電気・ガス・熱供給業　６．情報通信業 ７．運輸業、郵便業　８．卸売業、小売業　９．金融業、保険業 １０．不動産業、物品賃貸業　１１．学術研究、専門・技術サービス業 １２．宿泊業、飲食サービス業　１３．生活関連サービス業、娯楽業 １４．教育、学習支援業　１５．医療、介護、福祉 １６．複合サービス事業　１７．サービス業（他に分類されないもの） １８．その他（　　）
従業員数	１．10 人以下　２．11～50 人　３．51～100 人 ４．101～500 人　５．501～1,000 人　６．1,000 人以上
事業所の所有状況	１．自社所有　２．一部自社所有（一部賃貸） ３．賃貸（事業所全体）
事業所の築年数	１．５年未満　２．5～9 年 ３．10～19 年　４．20 年以上

問1（結果）

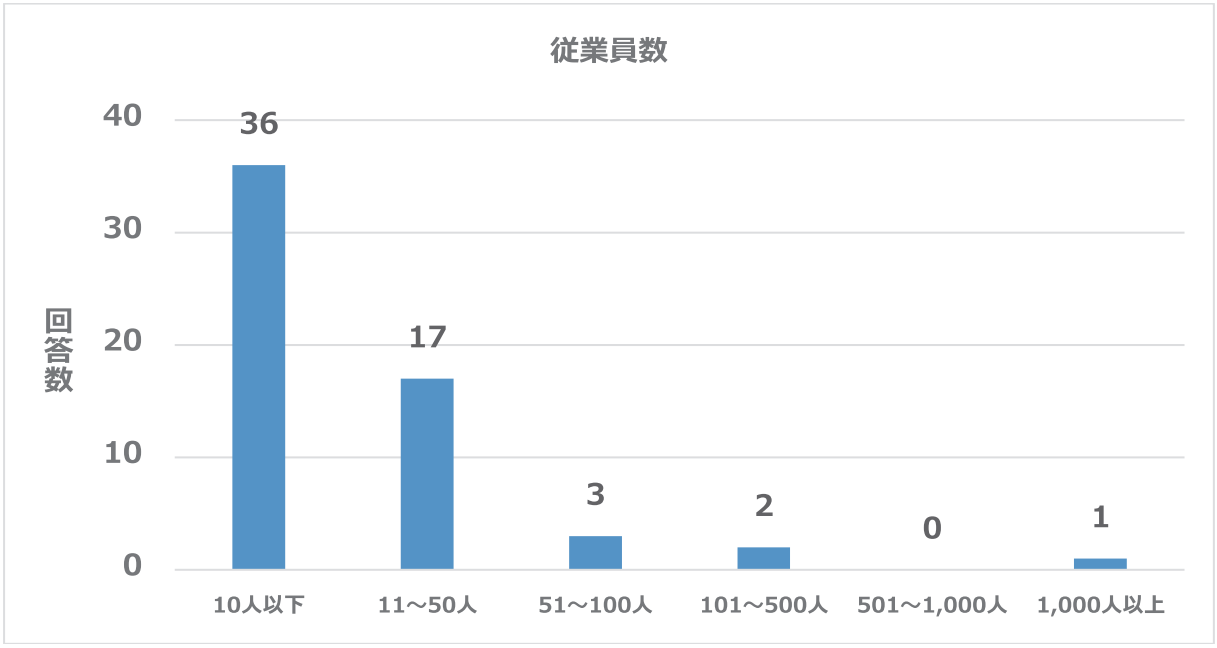
主な業種

本アンケートは、卸売り業、小売業の回答が最も多く、続いて、製造業、建設業、学術関係、専門・技術サービス等が多くを占めています。



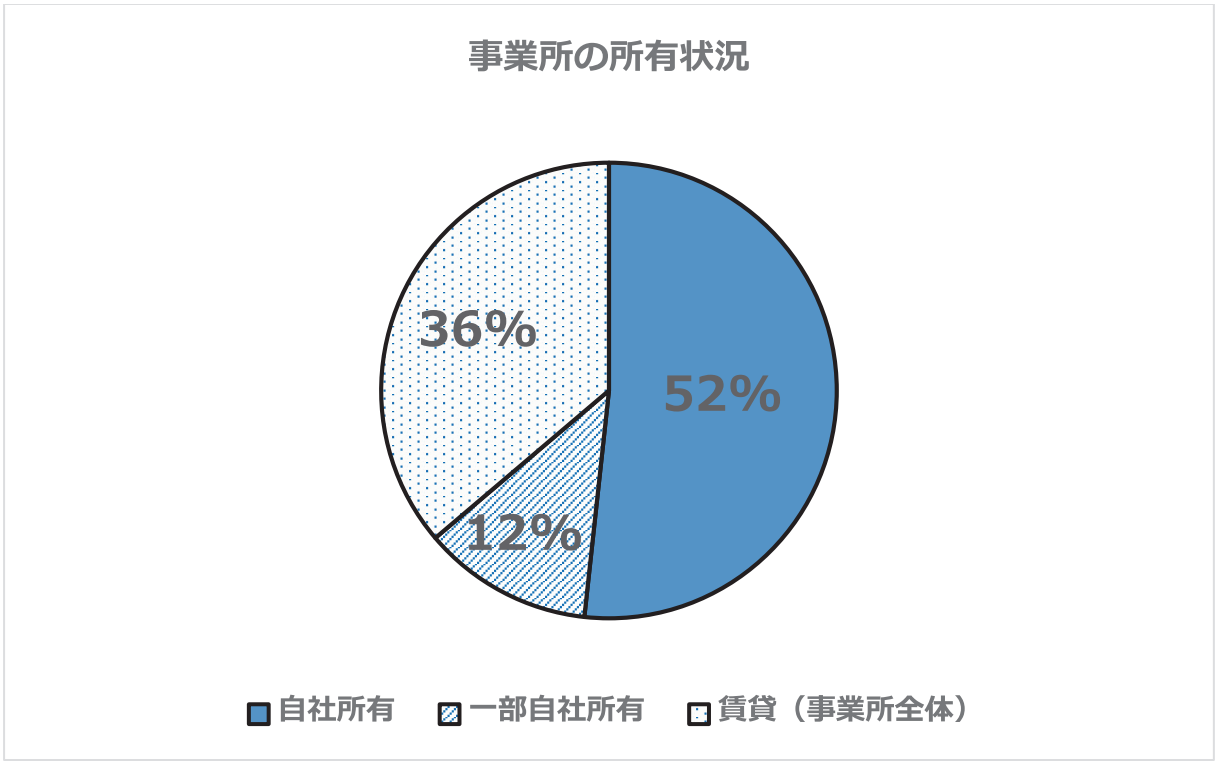
従業員数

従業員数１０人以下の割合が、回答事業者の６割以上を占めています。



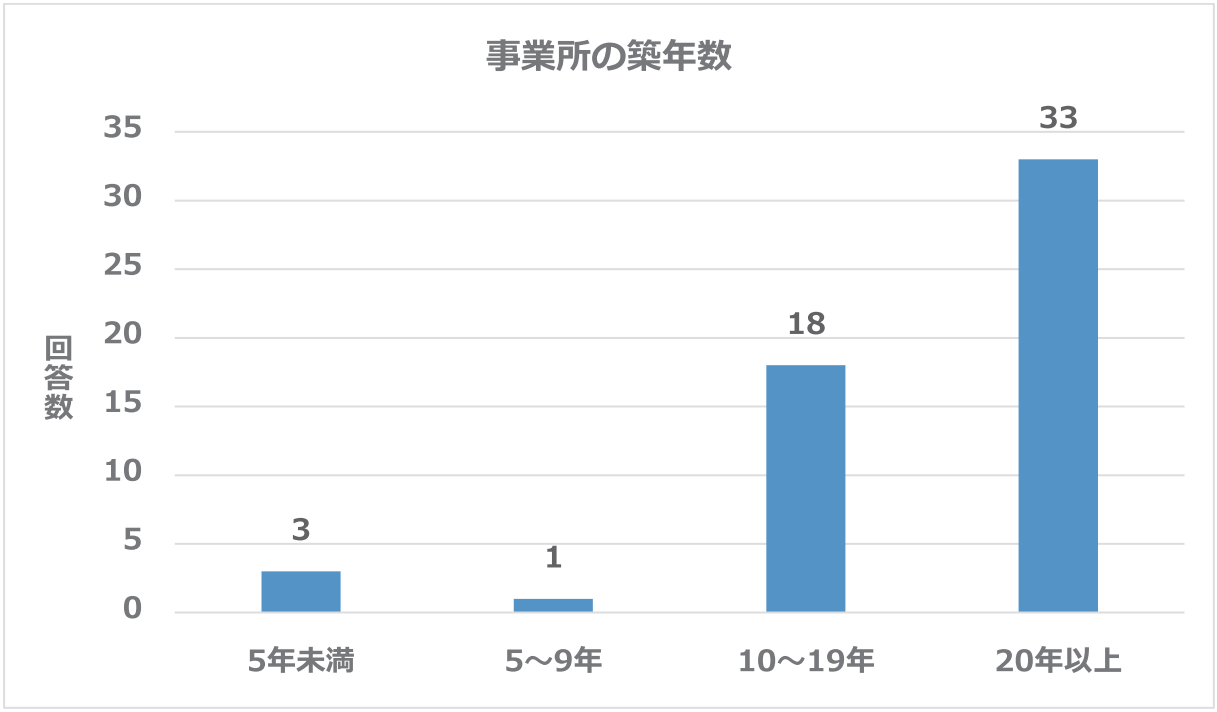
事業所の所得状況

アンケート回答事業者の半数以上が自社で所有していることがわかります。



事業所の築年数

回答事業者の半数以上は築２０年以上であり、５１/６１の事業者が１０年以上の築年数となっています。



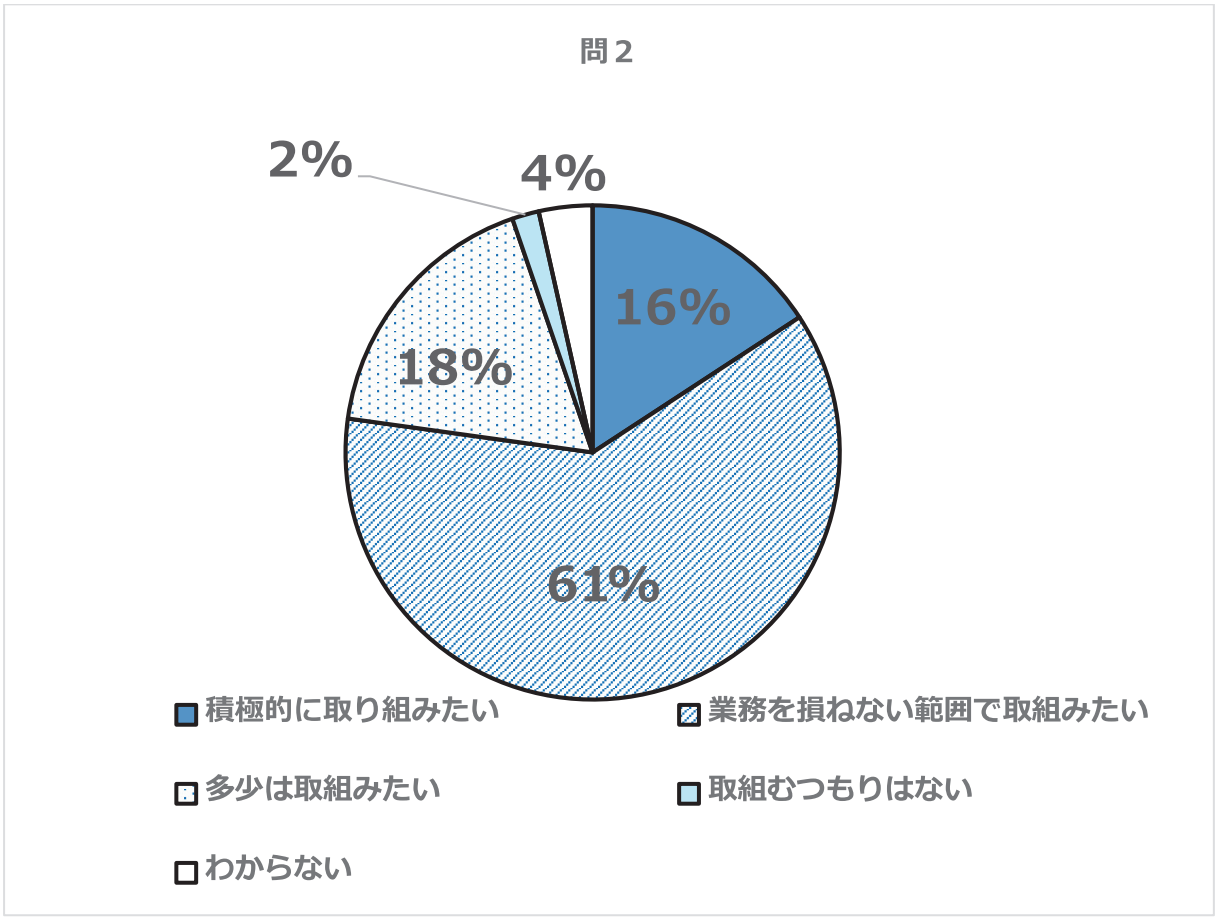
問2　貴事業所では、地球温暖化対策の取組についてどう考えていますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。

1．積極的に取組みたい	2．業務を損ねない範囲で取組みたい	3．多少は取組みたい
4．取組むつもりはない	5．わからない	

問2（結果）

積極的に取組みたいと回答した事業者は 16%、業務を損ねない範囲で取組みたいと回答した事業者は 61%を占めています。

取り組みたいと考えている割合が９割以上を占めていることから、全体的に地球温暖化対策に取り組みたい姿勢がみられることがわかります。



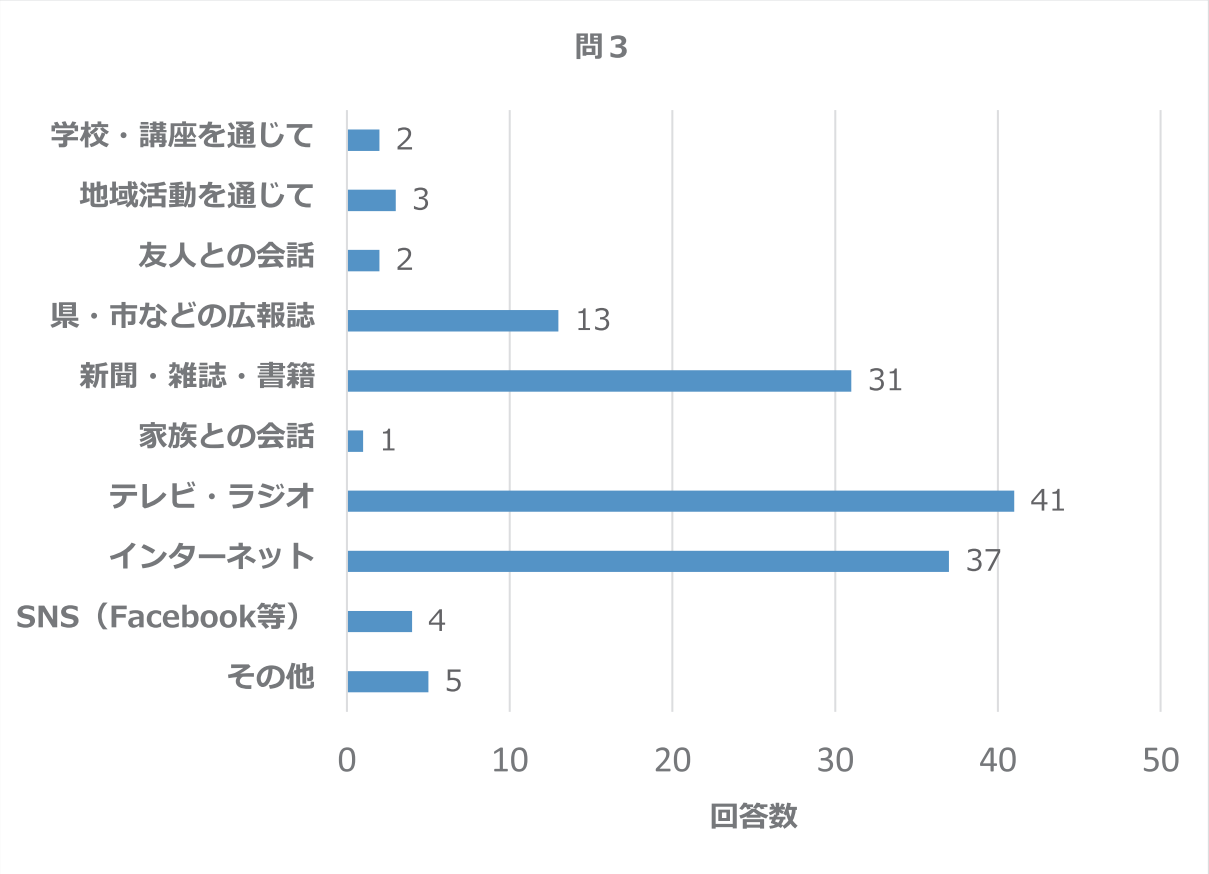
問3　貴事業所では、地球温暖化問題に関する情報を主にどこから得ていますか。あてはまる番号を３つまで選んで○印をつけてください。

1．講座等を通じて	2．地域活動を通じて	3．友人との会話
4．県・市などの広報紙	5．新聞・雑誌・書籍	6．家族との会話
7．テレビ・ラジオ	8．インターネット	9．SNS（Facebook 等）
10．その他（　　）		

問3（結果）

回答は、テレビやラジオが最も多く、次いでインターネット、新聞・雑誌・書籍と続いています。

事業者は、学校や講座、地域活動をとおして情報を得ることは少なく、テレビやラジオ、インターネットといったメディアをとおして、情報を得ることが圧倒的に多いことがわかります。

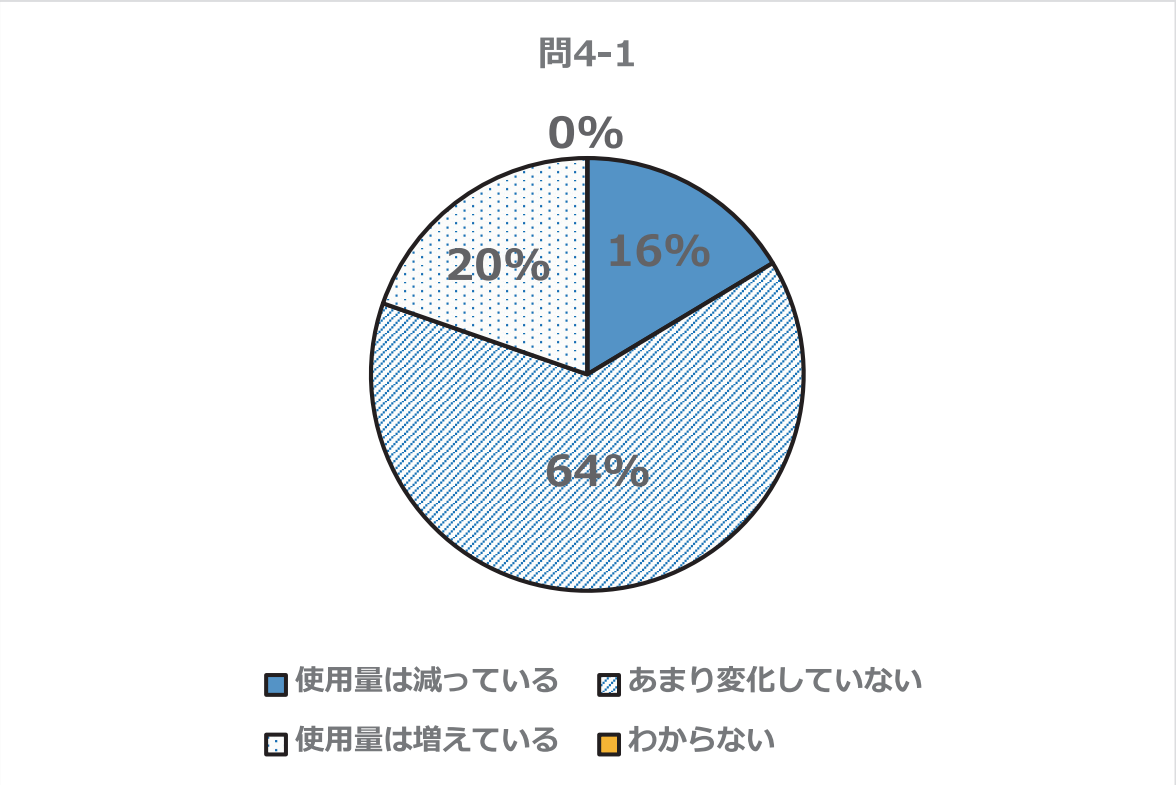


問4-1　貴事業所で消費するエネルギー（電力・ガス・灯油、自動車のガソリン等）の使用量は、ここ数年間で、増えていますか。それとも減っていますか。あてはまる番号１つに○印をつけてください。

1. 使用量は減っている	2. あまり変化していない
3. 使用量は増えている	4. わからない

問4-1（結果）

あまり変化していないと回答した事業者が６割以上を占めています。使用料が増えていると回答した割合は全体の２割と少ないことがわかります。

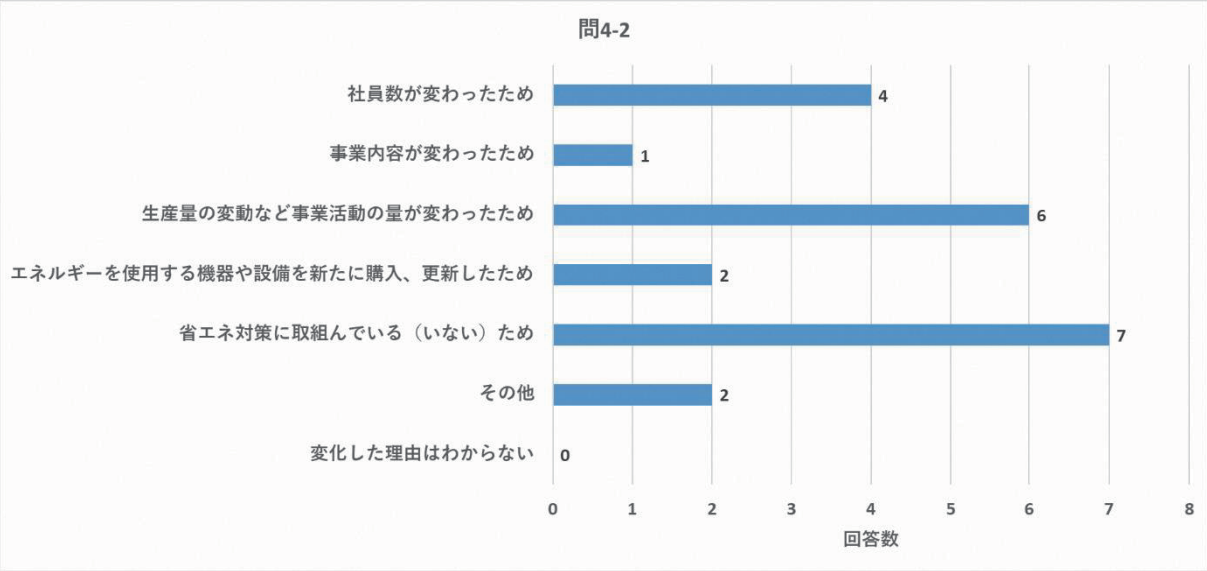


問4-2　問4-1で「1.」または「3.」と結果された方にお伺いします。貴事業所のエネルギー使用量が変化した理由について、どのように考えますか。最も影響が大きいと考えられる番号1つに○印をつけてください。

1．社員数が変わったため	2．事業内容が変わったため
3．生産量の変動など事業活動の量が変わったため	4．エネルギーを使用する機器や設備を新たに購入、更新したため
5．省エネ対策に取組んでいる（いない）ため	6．その他（　　）
7．変化した理由はわからない	

問4-2（結果）

「省エネ対策に取組んでいる（いない）ため」がエネルギー使用量の変化した理由として最も多く、続いて「生産量の変動など事業活動の量がかわったため」となっています。

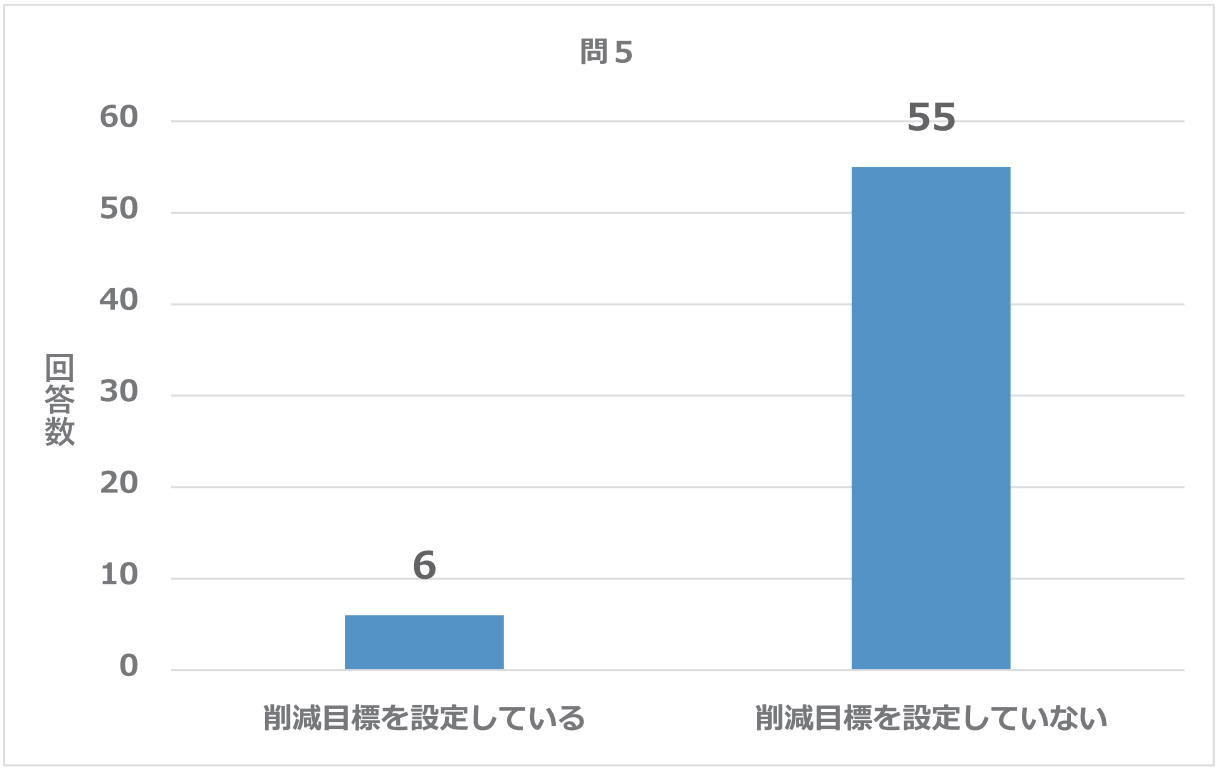


問5　貴事業所では温室効果ガス排出量やエネルギー消費量について、削減目標を設定していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1．削減目標を設定している。	2．削減目標を設定していない

問5（結果）

ほとんどの事業者が削減目標を設定していないことがわかります。

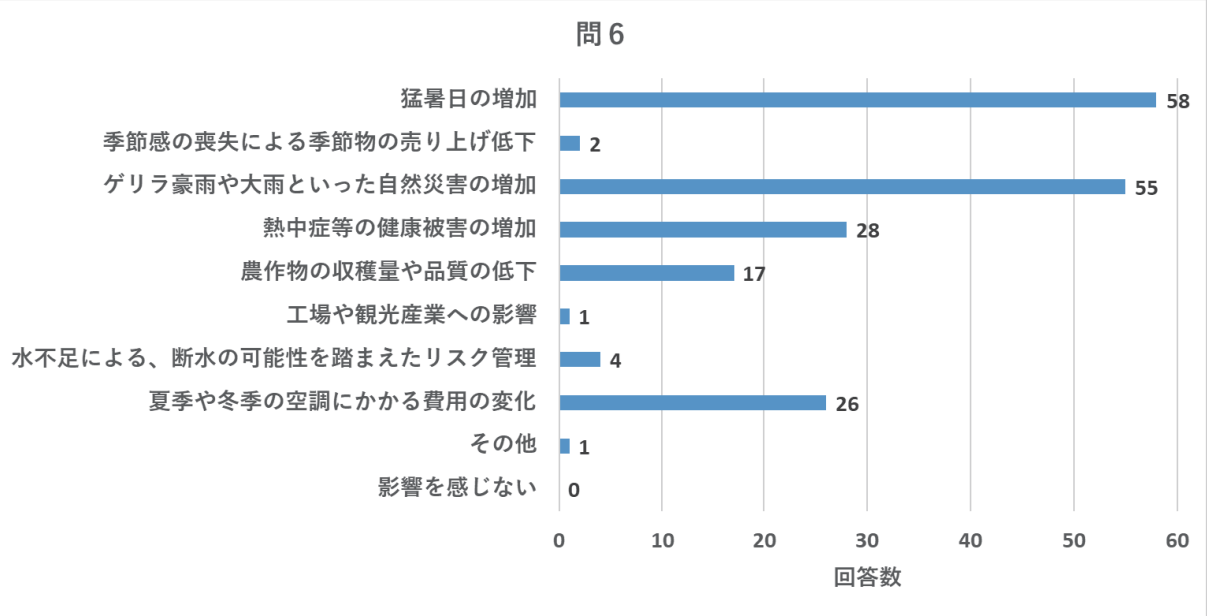


問6　日常業務の中でどのような事で地球温暖化の影響を感じますか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 猛暑日の増加
2. 季節感の喪失による季節物の売り上げ低下
3. ゲリラ豪雨や大雨といった自然災害の増加
4. 熱中症等の健康被害の増加
5. 農作物の収穫量や品質の低下
6. 工場や観光産業への影響
7. 水不足による、断水の可能性を踏まえたリスク管理
8. 夏季や冬季の空調にかかる費用の変化
9. その他（　　）
10. 影響を感じない

問6（結果）

猛暑日の増加やゲリラ豪雨等の自然災害の増加を地球温暖化の影響として感じていることがわかります。続いて、熱中症等の健康被害の増加と空調にかかる費用の変化について、影響を感じていることがわかります。



問7-1　貴事業所では、環境に関する経営方針や管理手法の導入状況や、日ごろ行っている地球温暖化対策に関する取組についてお伺いします。それぞれの項目について、1～4の中からあてはまる番号１つに○印をつけてください。

項目 ＼ 取組状況		実施している（一部実施を含む）。	実施を予定している。（検討）	実施していない（予定もない）	当所では該当しない。
1. ISO14001※1の認証取得	※1：国際標準化機構（ISO）が発行した環境マネジメントシステムに関する国際規格。	1	2	3	4
2. エコアクション21※2の認証取得	※2：中小企業や学校、公共機関向けに環境省が策定した環境配慮活動を推進するための認証・登録制度。	1	2	3	4
3. 埼玉県エコアップ認証制度の認証取得		1	2	3	4
4. 自主的な環境管理計画（環境に配慮した原材料、物品、サービスなどの購入ガイドライン）の策定		1	2	3	4
5. 環境担当部門や担当者の配置		1	2	3	4
6. 環境報告書の作成		1	2	3	4
7. 環境に関する内部監査の実施		1	2	3	4
8. RE100（Renewable Energy 100%：事業を100%再生可能エネルギー電力で賄うことを目標とする取組）への参画		1	2	3	4
9. 利用者のいない照明やOA機器の電源オフ		1	2	3	4
10. 省エネを考えたエアコンの設定温度		1	2	3	4
11. 水資源の効率的な利用		1	2	3	4
12. 再生資源を活用した物品（再生紙など）の優先的利用		1	2	3	4
13. ごみ分別、資源回収、リサイクル		1	2	3	4
14. 通勤には出来るだけ徒歩や自転車、相乗り、公共交通機関を利用		1	2	3	4
15. 省エネルギーを考えた自動車の運転、運用、整備		1	2	3	4
16. 省エネルギーを考えた機械の運転、運用、整備		1	2	3	4
17. 再生利用や再資源化を考えた製品の企画、製造、販売		1	2	3	4
18. 容器包装や運搬用資材の利用削減、簡素化や再利用による廃棄物の減量化		1	2	3	4
19. 容器包装や運搬用資材の利用削減、簡素化や再利用による運搬方法の簡素化		1	2	3	4
20. 施設の総合的な省エネルギー診断・対策		1	2	3	4
21. 従業員に向けた環境問題や地球温暖化対策に関する教育活動		1	2	3	4
22. 経営陣に向けた環境問題や地球温暖化対策に関する教育活動		1	2	3	4
23. 地球温暖化に関する情報収集、調査研究		1	2	3	4

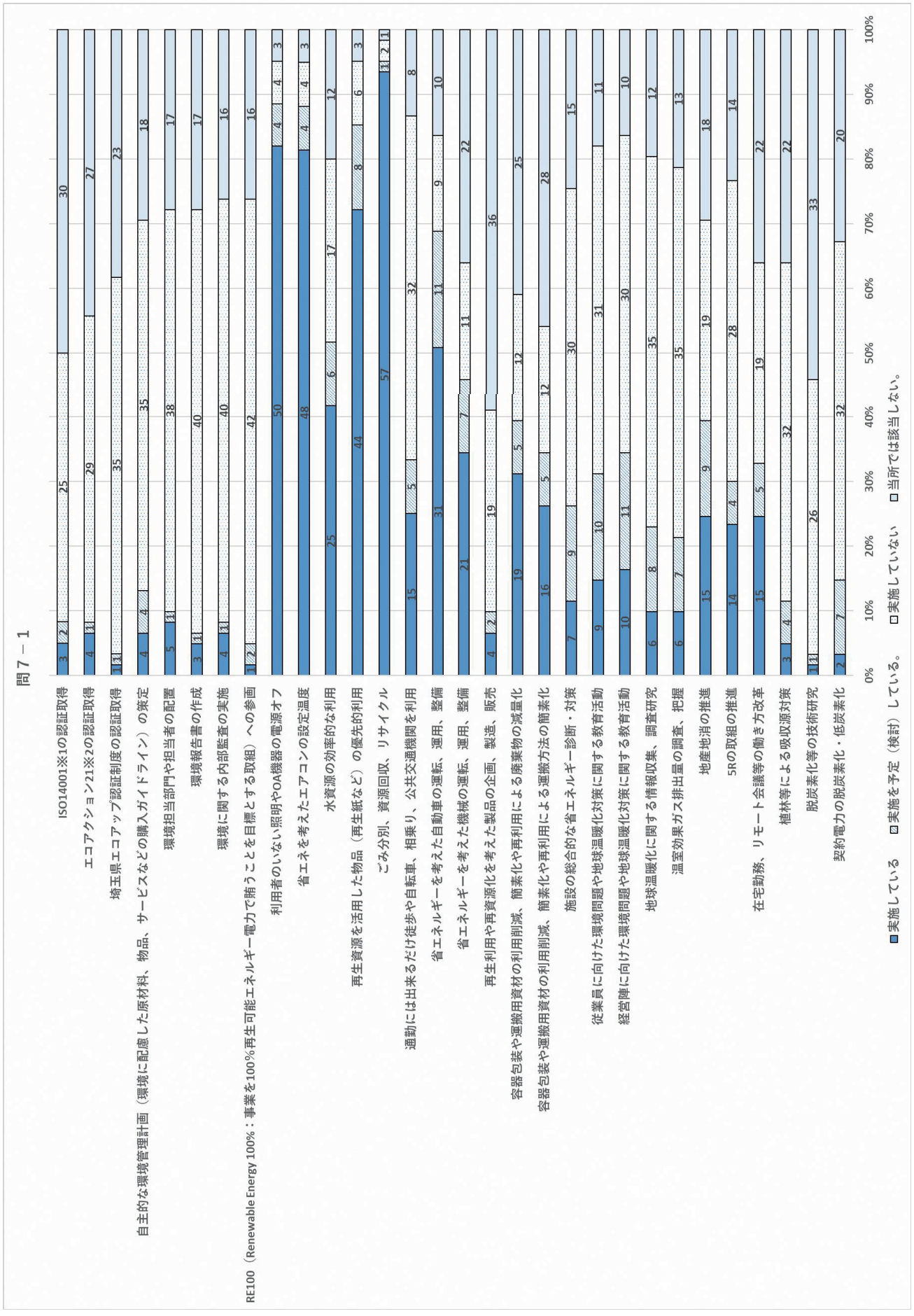
24. 温室効果ガス排出量の調査、把握	1	2	3	4
25. 地産地消の推進	1	2	3	4
26. 5R の取組の推進	1	2	3	4
27. 在宅勤務、リモート会議等の働き方改革	1	2	3	4
28. 植林等による吸収源対策	1	2	3	4
29. 脱炭素化等の技術研究	1	2	3	4
30. 契約電力の脱炭素化・低炭素化	1	2	3	4

問7-1（結果）

・実施していると回答した中では、ごみの分別、再生資源を活用した物品の優先的利用、省エネを考えたエアコンの設定温度、利用者のいない照明や OA 機器の電源オフが、とりわけ多いことがわかります。

・検討、予定中と回答した中では、従業員や経営陣に向けた環境問題や地球温暖化対策に関する教育活動が多くなっています。

・全体的に実施していない、該当していないとの回答が 8 割近くを占めています。


問７－１
ISO14001※1の認証取得
エコアクション21※2の認証取得
埼玉県エコアップ認証制度の認証取得
自主的な環境管理計画（環境に配慮した原材料、物品、サービスなどの購入ガイドライン）の策定
環境担当部門や担当者の配置
環境報告書の作成
環境に関する内部監査の実施
RE100（Renewable Energy 100%：事業を100%再生可能エネルギー電力で賄うことを目標とする取組）への参画
利用者のいない照明やOA機器の電源オフ
省エネを考えたエアコンの設定温度
水資源の効率的な利用
再生資源を活用した物品（再生紙など）の優先的利用
ごみ分別、資源回収、リサイクル
通勤には出来るだけ徒歩や自転車、相乗り、公共交通機関を利用
省エネルギーを考えた自動車の運転、運用、整備
省エネルギーを考えた機械の運転、運用、整備
再生利用や再資源化を考えた製品の企画、製造、販売
容器包装や運搬用資材の利用削減、簡素化や再利用による廃棄物の減量化
容器包装や運搬用資材の利用削減、簡素化や再利用による運搬方法の簡素化
施設の総合的な省エネルギー診断・対策
従業員に向けた環境問題や地球温暖化対策に関する教育活動
経営陣に向けた環境問題や地球温暖化対策に関する教育活動
地球温暖化に関する情報収集、調査研究
温室効果ガス排出量の調査、把握
地産地消の推進
5Rの取組の推進
在宅勤務、リモート会議等の働き方改革
植林等による吸収源対策
脱炭素化等の技術研究
契約電力の脱炭素化・低炭素化
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
■実施している　□実施を予定（検討）している。　□実施していない　□当所では該当しない。

問7-2　貴事業所では、省エネルギー等を考慮した設備などを導入していますか。以下のそれぞれの設備について、1～4の中からあてはまる番号１つに○印をつけてください。

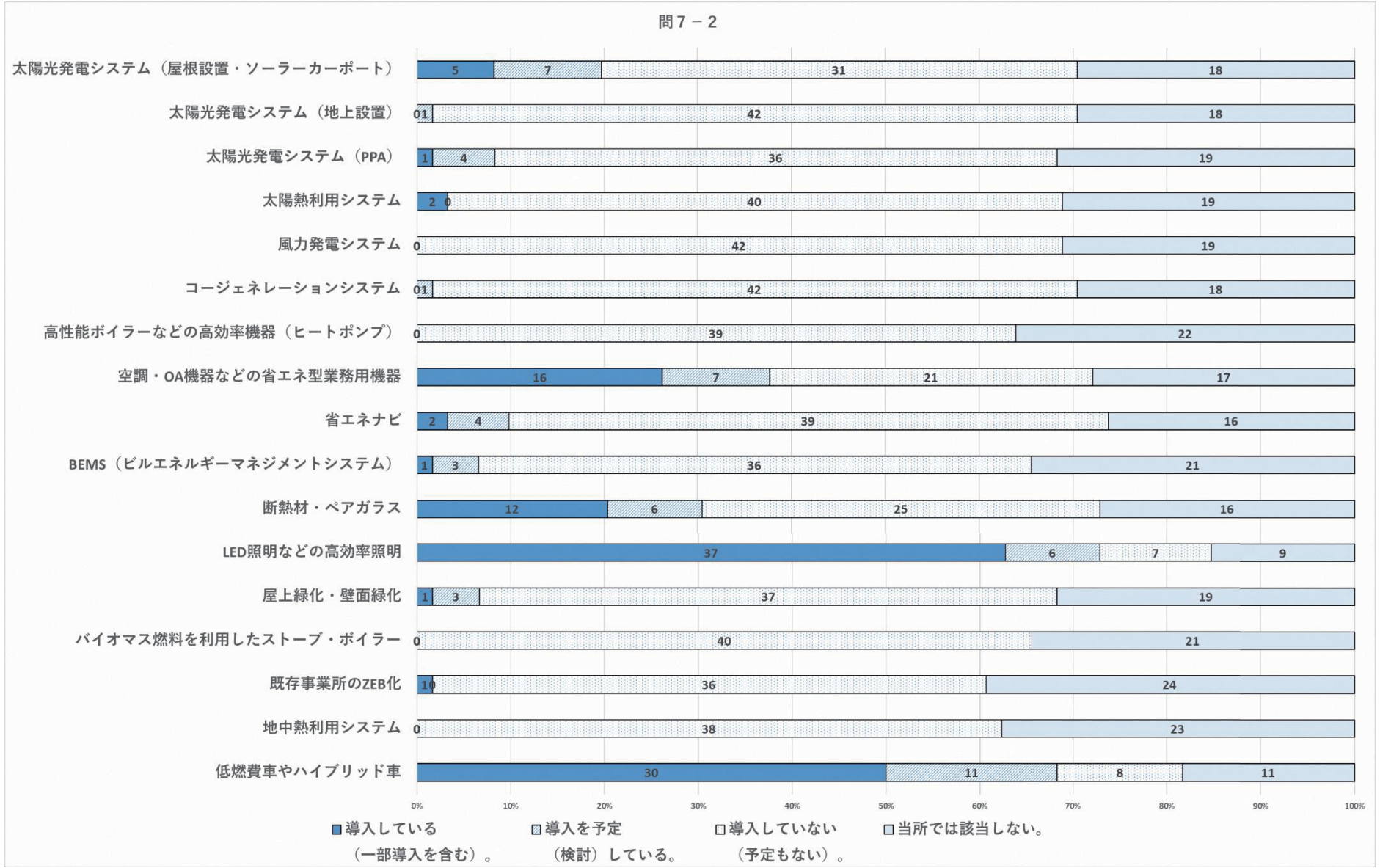
	項目		意向 1 導入している（一部導入を含む）。	2 導入を予定（検討）している。	3 導入していない（予定もない）	4 当所では該当しない。
1.	太陽光発電システム（屋根設置・ソーラーカーポート）		1	2	3	4
2.	太陽光発電システム（地上設置）		1	2	3	4
3.	太陽光発電システム（PPA）	Power Purchase Agreement（電力販売契約）：初期投資０円で発電設備を設置し、その電気を利用することで電気料金と CO_2 排出を削減することができる（設置事業者に 10～15 年電気料金を支払い、期間満了後に自己所有となる）	1	2	3	4
4.	太陽熱利用システム		1	2	3	4
5.	風力発電システム		1	2	3	4
6.	コージェネレーションシステム	一つのエネルギー源から電気と熱などを同時に供給する、エネルギーの利用効率が高いシステムのこと。	1	2	3	4
7.	高性能ボイラーなどの高効率機器（ヒートポンプ）		1	2	3	4
8.	空調・OA 機器などの省エネ型業務用機器		1	2	3	4
9.	省エネナビ	現在のエネルギーの使用状況を量や金額でリアルタイムに表示し、利用者自身が決めた目標値と比較しながら見せる機器のこと。	1	2	3	4
10.	BEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）	IT の活用により、エネルギーの使用状況をリアルタイムに表示し、また、室内状況に対応して照明・空調などの最適な運転を行うエネルギー需要の管理システムのこと。	1	2	3	4
11.	断熱材・ペアガラス	ペアガラスは、ガラスを二重にした窓で、防音効果だけでなく断熱効果にも優れている。	1	2	3	4
12.	LED 照明などの高効率照明		1	2	3	4
13.	屋上緑化・壁面緑化		1	2	3	4
14.	バイオマス燃料を利用したストーブ・ボイラー		1	2	3	4
15.	既存事業所のZEB 化	ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）：大幅な省エネ・再エネの導入により、年間のエネルギー収支をゼロとすることを目指した建物のこと。	1	2	3	4
16.	地中熱利用システム	地中深くなると、年間を通して温度の変化が少なくなる。このため、夏場は外気温度よりも地中温度が低く、冬場は高くなることを、冷暖房等に利用するシステム。	1	2	3	4
17.	低燃費車やハイブリッド車		1	2	3	4

問7-2（結果）

全体的に導入していない、該当しない事業所が多いことがわかります。

事業者の中で導入している項目として、多いのが LED 照明などの効果率照明や低燃費者やハイブリッド車でとなっています。そのほかの項目は、導入していないと回答した事業者が多数を占めています。

※結果グラフは次ページに示します。


問７－２
太陽光発電システム（屋根設置・ソーラーカーポート）
5
7
31
18
太陽光発電システム（地上設置）
0
1
42
18
太陽光発電システム（PPA）
1
4
36
19
太陽熱利用システム
2
0
40
19
風力発電システム
0
42
19
コージェネレーションシステム
0
1
42
18
高性能ボイラーなどの高効率機器（ヒートポンプ）
0
39
22
空調・OA機器などの省エネ型業務用機器
16
7
21
17
省エネナビ
2
4
39
16
BEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）
1
3
36
21
断熱材・ペアガラス
12
6
25
16
LED照明などの高効率照明
37
6
7
9
屋上緑化・壁面緑化
1
3
37
19
バイオマス燃料を利用したストーブ・ボイラー
0
40
21
既存事業所のZEB化
1
0
36
24
地中熱利用システム
0
38
23
低燃費車やハイブリッド車
30
11
8
11
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
導入している（一部導入を含む）。
導入を予定（検討）している。
導入していない（予定もない）。
当所では該当しない。

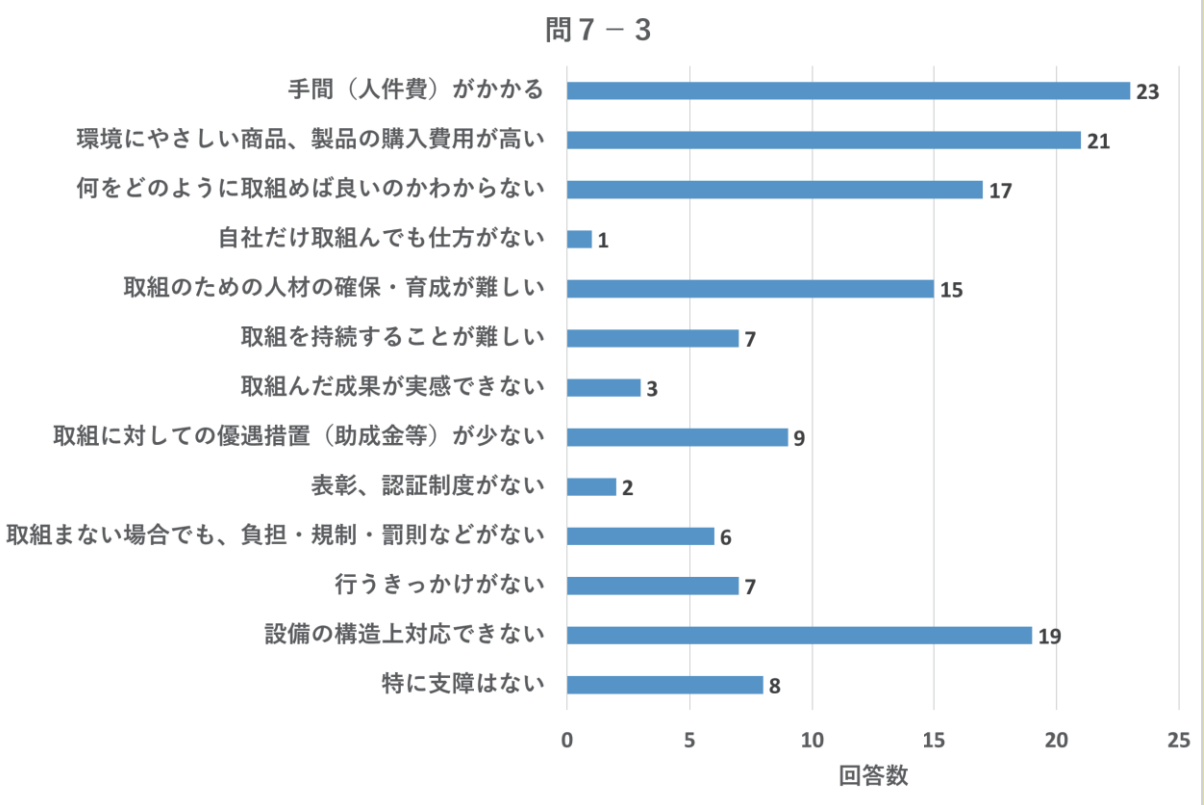
問7-3　地球温暖化対策の取組を実施するために、貴事業所で支障があると感じるものは何ですか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 手間（人件費）がかかる
2. 環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い
3. 何をどのように取組めば良いのかわからない
4. 自社だけ取組んでも仕方がない
5. 取組のための人材の確保・育成が難しい
6. 取組を持続することが難しい
7. 取組んだ成果が実感できない
8. 取組に対しての優遇措置（助成金等）が少ない
9. 表彰、認証制度がない
10. 取組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない
11. 行うきっかけがない
12. 設備の構造上対応できない
13. 特に支障はない

問7-3（結果）

結果から、手間や費用が最も支障となっていることがわかります。

また、設備の構造上対応できないことや何をどのように取り組めば良いのかわからないといった事業者も多いことがわかります。



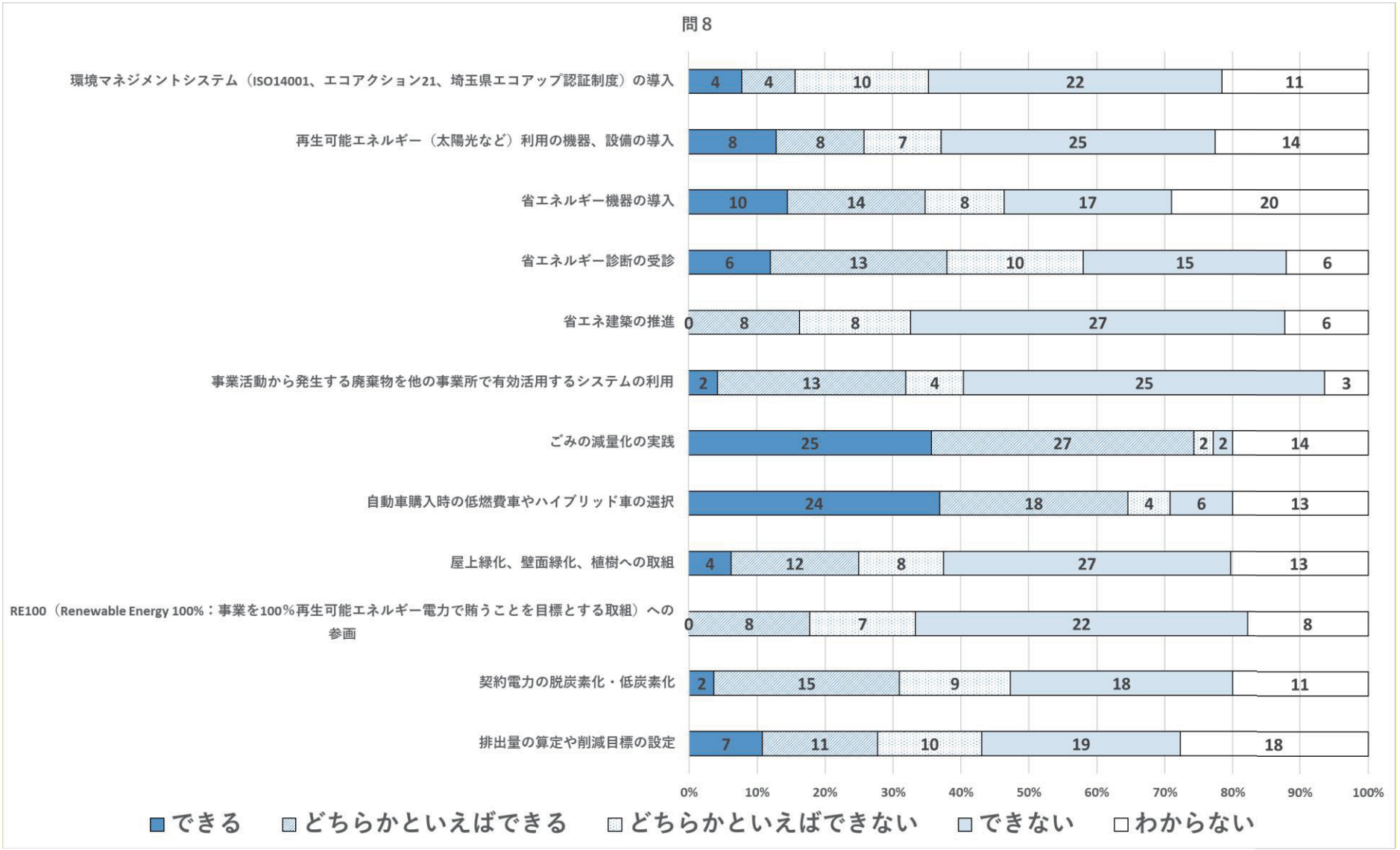
問8　貴事業所で地球温暖化対策をさらに進めていく上で今後、何ができると思いますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1～5の中から1つに○印をつけてください。

項　　目	できる	どちらかといえばできる	どちらかといえばできない	できない	わからない
1. 環境マネジメントシステム（ISO14001、エコアクション21、埼玉県エコアップ認証制度）の導入	1	2	3	4	5
2. 再生可能エネルギー（太陽光など）利用の機器、設備の導入	1	2	3	4	5
3. 省エネルギー機器の導入	1	2	3	4	5
4. 省エネルギー診断の受診	1	2	3	4	5
5. 省エネ建築の推進	1	2	3	4	5
6. 事業活動から発生する廃棄物を他の事業所で有効活用するシステムの利用	1	2	3	4	5
7. ごみの減量化の実践	1	2	3	4	5
8. 自動車購入時の低燃費車やハイブリッド車の選択	1	2	3	4	5
9. 屋上緑化、壁面緑化、植樹への取組	1	2	3	4	5
10. RE100（Renewable Energy 100%：事業を100%再生可能エネルギー電力で賄うことを目標とする取組）への参画	1	2	3	4	5
11. 契約電力の脱炭素化・低炭素化	1	2	3	4	5
12. 排出量の算定や削減目標の設定	1	2	3	4	5

問8（結果）

できる・どちらかといえばできるとを合わせた回答は、「ごみの減量化」、「自動車購入時の低燃費車やハイブリッド車」となっています。結果から、全体的にできないと回答する事業者が多くことがわかります。

※結果グラフは次ページに示します。


問８
環境マネジメントシステム（ISO14001、エコアクション21、埼玉県エコアップ認証制度）の導入
4
4
10
22
11
再生可能エネルギー（太陽光など）利用の機器、設備の導入
8
8
7
25
14
省エネルギー機器の導入
10
14
8
17
20
省エネルギー診断の受診
6
13
10
15
6
省エネ建築の推進
0
8
8
27
6
事業活動から発生する廃棄物を他の事業所で有効活用するシステムの利用
2
13
4
25
3
ごみの減量化の実践
25
27
2
2
14
自動車購入時の低燃費車やハイブリッド車の選択
24
18
4
6
13
屋上緑化、壁面緑化、植樹への取組
4
12
8
27
13
RE100（Renewable Energy 100%：事業を100%再生可能エネルギー電力で賄うことを目標とする取組）への参画
0
8
7
22
8
契約電力の脱炭素化・低炭素化
2
15
9
18
11
排出量の算定や削減目標の設定
7
11
10
19
18
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
できる
どちらかといえばできる
どちらかといえばできない
できない
わからない

問9　地域で行う地球温暖化対策に参加・協力することができますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1～5の中から1つに○印をつけてください。

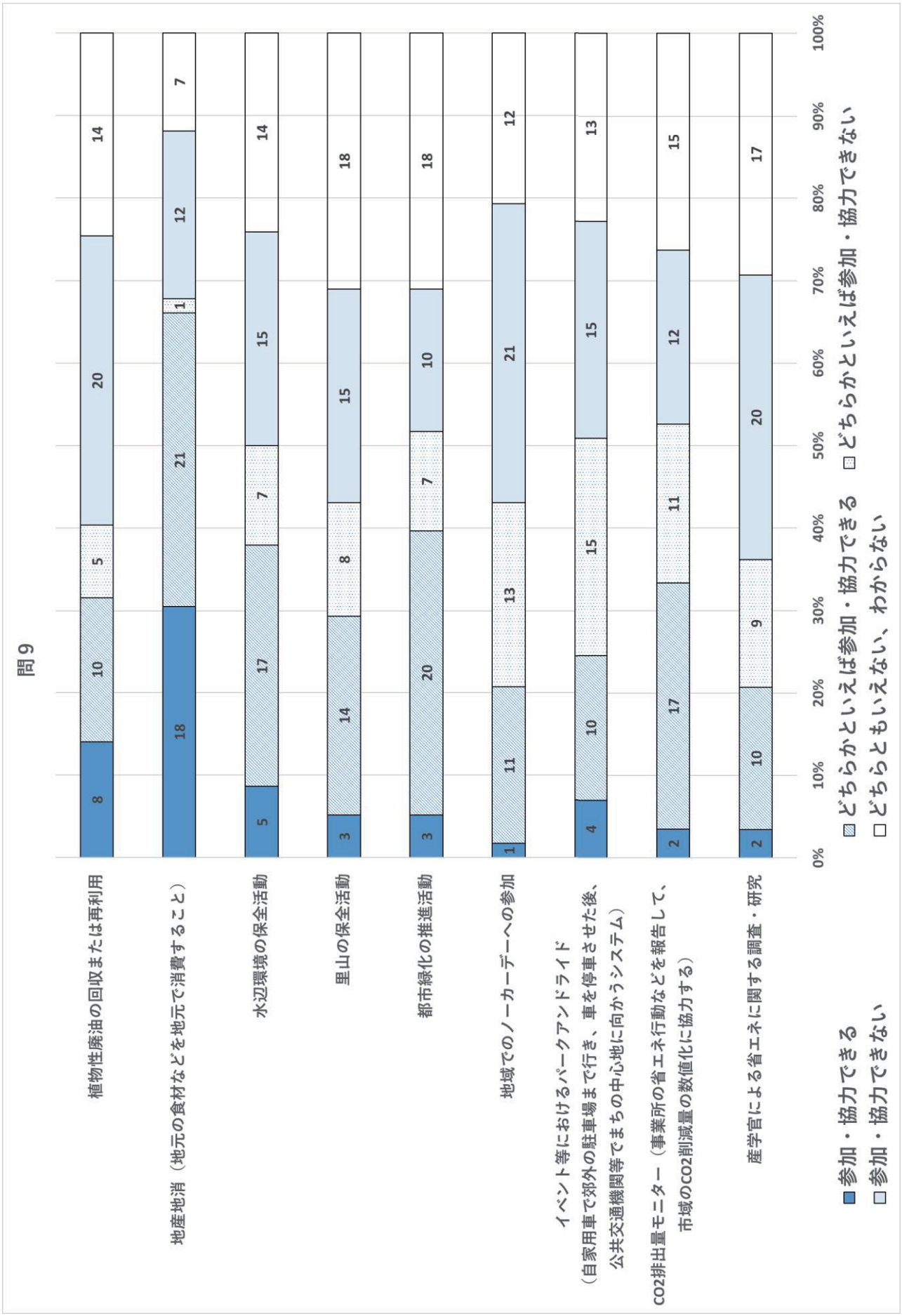
	参加・協力できる	どちらかといえば参加・協力できる	どちらかといえば参加・協力できない	参加・協力できない	どちらともいえない、わからない
1. 植物性廃油の回収または再利用	1	2	3	4	5
2. 地産地消（地元の食材などを地元で消費すること）	1	2	3	4	5
3. 水辺環境の保全活動	1	2	3	4	5
4. 里山の保全活動	1	2	3	4	5
5. 都市緑化の推進活動	1	2	3	4	5
6. 地域でのノーカーデーへの参加	1	2	3	4	5
7. イベント等におけるパークアンドライド（自家用車で郊外の駐車場まで行き、車を停車させた後、公共交通機関等でまちの中心地に向かうシステム）	1	2	3	4	5
8. CO_2 排出量モニター（事業所の省エネ行動などを報告して、市域の CO_2 削減量の数値化に協力する）	1	2	3	4	5
9. 産学官による省エネに関する調査・研究	1	2	3	4	5

問9（結果）

参加・協力できると回答した事業者の中では、地産地消が多くを占め、どちらかといえば参加・協力できると回答した事業者では、水辺、里山の環境保全活動や都市緑化の推進活動、CO_2 排出量モニター（事業所の省エネ行動などを報告して、市域の CO_2 削減量の数値化に協力する）が多くなっています。

協力できないと回答した事業者の中には、「植物性廃油の回収または再利用」、「産学官による省エネに関する調査や研究」が多くなっています。

※結果がグラフは次ページに示します。


問９
植物性廃油の回収または再利用
8
10
5
20
14
地産地消（地元の食材などを地元で消費すること）
18
21
1
12
7
水辺環境の保全活動
5
17
7
15
14
里山の保全活動
3
14
8
15
18
都市緑化の推進活動
3
20
7
10
18
地域でのノーカーデーへの参加
1
11
13
21
12
イベント等におけるパークアンドライド
（自家用車で郊外の駐車場まで行き、車を停車させた後、
公共交通機関等でまちの中心地に向かうシステム）
4
10
15
15
13
CO2排出量モニター（事業所の省エネ行動などを報告して、
市域のCO2削減量の数値化に協力する）
2
17
11
12
15
産学官による省エネに関する調査・研究
2
10
9
20
17
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
■参加・協力できる
▨どちらかといえば参加・協力できる
▩どちらかといえば参加・協力できない
□参加・協力できない
□どちらともいえない、わからない

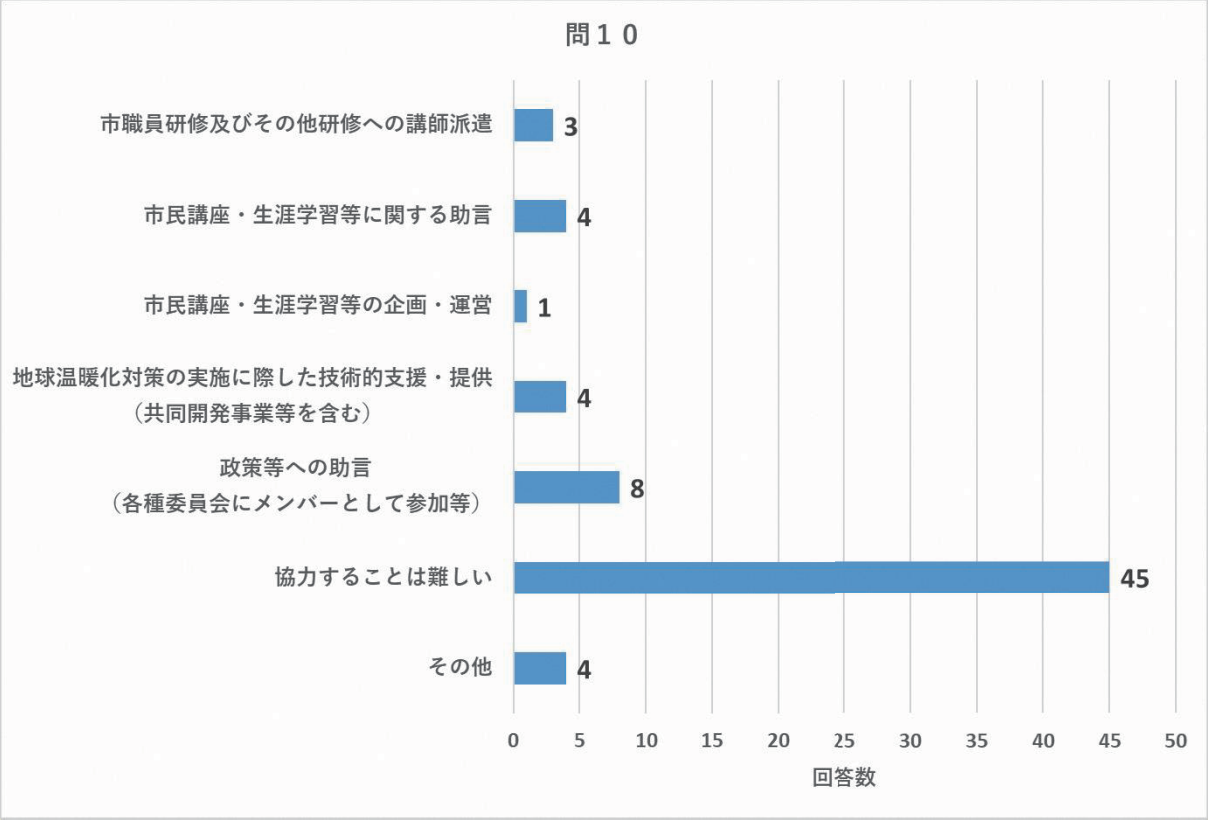
問10　今後、地球温暖化対策に関連して市から協力を求められた場合、どのような協力の在り方が考えられますか。当てはまる番号すべてに○を付けてください。（いくつでも選択）

1. 市職員研修及びその他研修への講師派遣
2. 市民講座・生涯学習等に関する助言
3. 市民講座・生涯学習等の企画・運営
4. 地球温暖化対策の実施に際した技術的支援・提供（共同開発事業等を含む）
5. 政策等への助言（各種委員会にメンバーとして参加等）
6. 協力することは難しい
7. その他（　　）

問10（結果）

協力することは難しいが圧倒的に多くなっています。

これまでのアンケートの結果からもわかるように、協力したい気持ちはあるが、時間や費用面で対応ができないといった意図を感じる結果となっています。



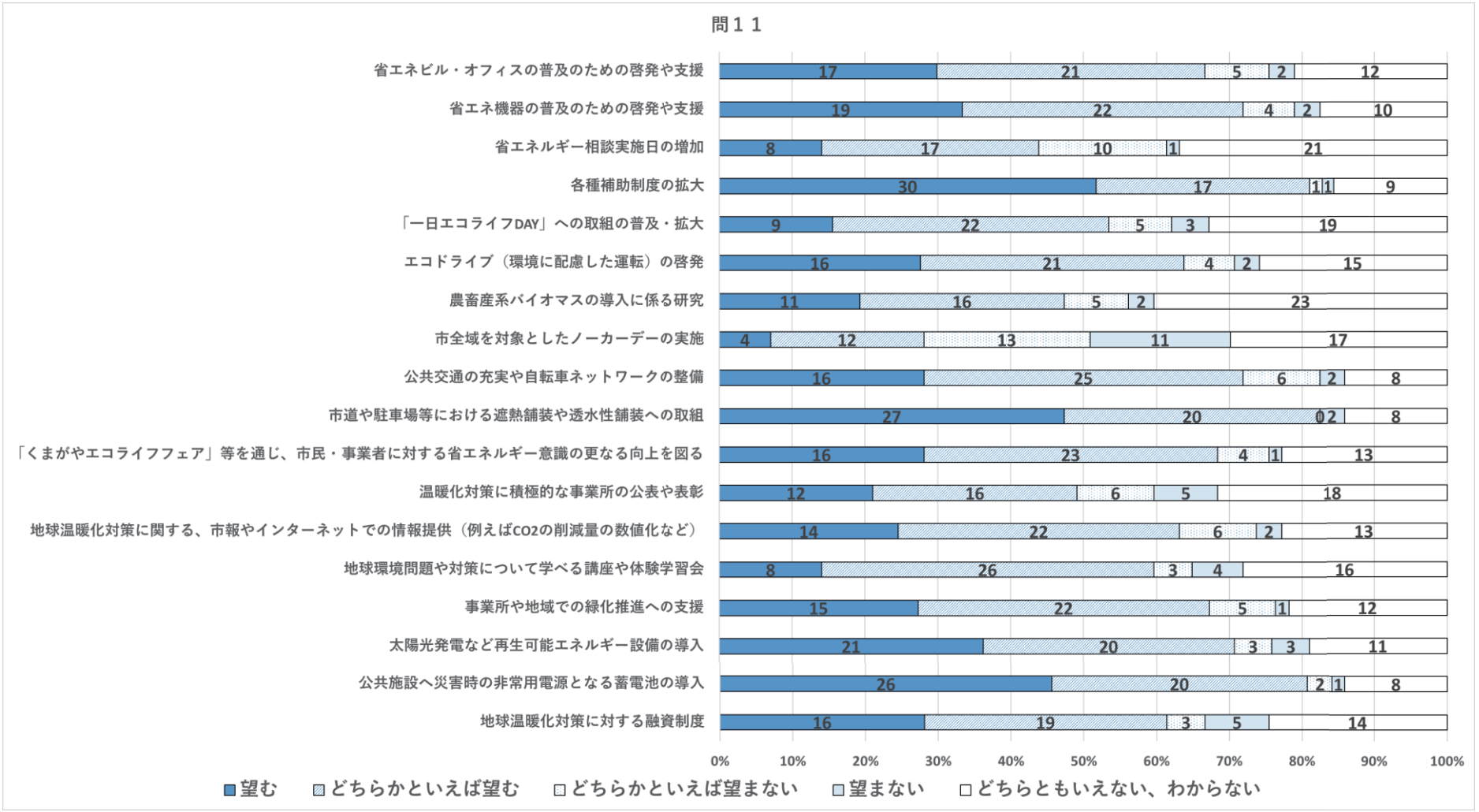
問11　地球温暖化を防止するため、行政にどのような対策を望みますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1～5の中から1つに○印をつけてください。

項　　目		望む	どちらかといえば望む	どちらかといえば望まない	望まない	どちらともいえない、わからない
1.	省エネビル・オフィスの普及のための啓発や支援	1	2	3	4	5
2.	省エネ機器の普及のための啓発や支援	1	2	3	4	5
3.	省エネルギー相談実施日の増加	1	2	3	4	5
4.	各種補助制度の拡大	1	2	3	4	5
5.	「一日エコライフDAY」への取組の普及・拡大	1	2	3	4	5
6.	エコドライブ（環境に配慮した運転）の啓発	1	2	3	4	5
7.	農畜産系バイオマスの導入に係る研究	1	2	3	4	5
8.	市全域を対象としたノーカーデーの実施	1	2	3	4	5
9.	公共交通の充実や自転車ネットワークの整備	1	2	3	4	5
10.	市道や駐車場等における遮熱舗装や透水性舗装への取組	1	2	3	4	5
11.	「くまがやエコライフフェア」等を通じ、市民・事業者に対する省エネルギー意識の更なる向上を図る	1	2	3	4	5
12.	温暖化対策に積極的な事業所の公表や表彰	1	2	3	4	5
13.	地球温暖化対策に関する、市報やインターネットでの情報提供（例えばCO_2の削減量の数値化など）	1	2	3	4	5
14.	地球環境問題や対策について学べる講座や体験学習会	1	2	3	4	5
15.	事業所や地域での緑化推進への支援	1	2	3	4	5
16.	太陽光発電など再生可能エネルギー設備の導入	1	2	3	4	5
17.	公共施設へ災害時の非常用電源となる蓄電池の導入	1	2	3	4	5
18.	地球温暖化対策に対する融資制度	1	2	3	4	5

問11（結果）

望むと回答した事業者の中では、「各種補助金制度の拡大」が最も多く、続いて、「市道や駐車場等における遮熱舗装や透水性舗装への取組」、「公共施設へ災害時の非常用電源となる蓄電池の導入」となっています。直接的な被害防止策といった内容に回答が集中したことから、目に見える対策を望んでいることがわかります。

また、温暖化を防止するために係る費用面が、最も弊害となっていることが考えられます。


問１１
省エネビル・オフィスの普及のための啓発や支援 17 21 5 2 12
省エネ機器の普及のための啓発や支援 19 22 4 2 10
省エネルギー相談実施日の増加 8 17 10 1 21
各種補助制度の拡大 30 17 1 1 9
「一日エコライフDAY」への取組の普及・拡大 9 22 5 3 19
エコドライブ（環境に配慮した運転）の啓発 16 21 4 2 15
農畜産系バイオマスの導入に係る研究 11 16 5 2 23
市全域を対象としたノーカーデーの実施 4 12 13 11 17
公共交通の充実や自転車ネットワークの整備 16 25 6 2 8
市道や駐車場等における遮熱舗装や透水性舗装への取組 27 20 0 2 8
「くまがやエコライフフェア」等を通じ、市民・事業者に対する省エネルギー意識の更なる向上を図る 16 23 4 1 13
温暖化対策に積極的な事業所の公表や表彰 12 16 6 5 18
地球温暖化対策に関する、市報やインターネットでの情報提供（例えばCO2の削減量の数値化など） 14 22 6 2 13
地球環境問題や対策について学べる講座や体験学習会 8 26 3 4 16
事業所や地域での緑化推進への支援 15 22 5 1 12
太陽光発電など再生可能エネルギー設備の導入 21 20 3 3 11
公共施設へ災害時の非常用電源となる蓄電池の導入 26 20 2 1 8
地球温暖化対策に対する融資制度 16 19 3 5 14
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
望む
どちらかといえば望む
どちらかといえば望まない
望まない
どちらともいえない、わからない